

基本目標		幸せを感じる暮らしをつくる				第1四半期	
区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期	
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	80.0	—	—	
政策1	①人口の社会動態	人	▲114	±0	▲117(1-6)	▲3	
	②年間出生数	人	112	185	46(1-6)	▲11	
政策2	①里山整備実施箇所数（累計）	箇所	36	40	36	▲1	
	②エネルギー自給率	%	56.7	30.0	—	—	
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	421	220	—	—	
	④ごみの分別リサイクル率	%	28.1	50.0	—	—	
政策3	①健康寿命の推定値	歳	男 80.3 女 84.0	男 80.0 女 85.0	—	—	
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	16.3	30.0	—	—	
	③メタボ該当者の割合	%	20.3	14.0	—	—	
	④メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.0	—	—	
政策4	①介護予防教室等の参加者数	人	342	290	94	▲197	
政策5	①刑法犯発生件数	件	68	45	40	+10	
	②交通事故発生件数（人身）	件	17	15	11	+4	

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①移住相談件数：30件、移住定住奨励金：18件 空き家バンク：登録4件 成約5件、お試し住宅利用：2件、オーダーメイドツアー：3回 ②夜間結婚相談の告知に努め、2件の相談。 ましこココハウスにおいて、学童保育の代行実施</p> <p>2 ①新規整備予定地区説明会実施（生田目地区） ②町HP等で補助金制度の周知に努めた。 バイオマスストーブ：1件 太陽光発電：1件 ③生ゴミ処理事業：家庭系 61t（全77t） エコ土曜日を実施し資源物回収に努めた。 ④資源物回収奨励事業：671t（前年度）</p> <p>3 ①感染症によりほとんどの事業を中止 健康ポイント新規者：6名 ②チャレンジクラブ新年度会員の受付開始。クラブ運営について感染症対策の検討。 クラブ会員：296名（前年同期510名） ③④適正な食生活・適正体重の普及のため健康ディを計画したが、感染症により中止。栄養相談と保健指導のみ実施：7名</p> <p>4 ①感染症により各種教室・サロン活動中止。6月より感染症対策を実施し、一部サロンと介護予防教室を再開。 デマンド運行利用者：2,881人（前年同期3,816）</p> <p>5 ①青色防犯パトロール、特殊詐欺等への注意喚起を行った。 注意喚起メール：1回 特殊詐欺対策電話購入機補助：6件 ②交通安全教室の実施とスクールガードリーダーの委嘱 交通安全教室：13回 222人（内高齢者1回 15人） 免許返納：6人 スクールガードリーダー：80人</p>	<p>1 ①コロナ感染症により地方での生活が見直されているため、なお一層移住検討者に寄り添った支援を行う。空き家バンクは優良物件の掘り起こしに努める。 ②結婚相談員の情報交換会等を実施し、とちぎ未来クラブ地域結婚サポーターとの連携を図る。ましこココハウスは多世代間交流イベントを実施し、利用促進を図る。</p> <p>2 ①里山整備について良好な管理ができる様に地元管理団体に助言、支援を行う。 ②今年度新たに導入したV2H補助金を含め、町民への周知を図る。 ③家庭用の生ごみは減少傾向にあるが、事業系が増加傾向のため、事業所への個別勧奨を図る。 ④自治会や育成会に資源物回収のメリットをPRするとともに、事業実施の支援を行う。</p> <p>3 ①7月より「密」を避ける対策を行い事業を再開。 ②広報誌を通して興味ある記事を掲載し、会員の加入促進を図って行く。 ③④感染症予防対策を考慮し、手法等を変えながら事業を実施して行く。</p> <p>4 ①感染症予防により外出を控える方が多いため、安心して参加できる内容・方法の確認を適宜行う。サロン運営については、相談・支援を行う。デマンドタクシーについては、感染防止対策を徹底し安心して利用できる環境づくりを行う。</p> <p>5 ①青色防犯パトロールを随時行い、特殊詐欺についても注意喚起を随時行う。 ②警察と協力し交通安全の呼びかけを行うとともに、高齢者学級等で交通安全教室を行う。スクールガードはより多くの方に協力いただけるよう新規登録者の確保に取り組む。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	80.0	—	—
政策1	①人口の社会動態	人	▲114	±0	▲132(1-9)	▲18
	②年間出生数	人	112	185	68(1-9)	▲13
政策2	①里山整備実施箇所数(累計)	箇所	36	40	36	▲1
	②エネルギー自給率	%	56.7	30.0	—	—
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	421	220	—	—
	④ごみの分別リサイクル率	%	28.1	50.0	—	—
政策3	①健康寿命の推定値	歳	男 80.3 女 84.0	男 80.0 女 85.0	—	—
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	16.3	30.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	20.3	14.0	—	—
	④メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.0	—	—
政策4	①介護予防教室等の参加者数	人	342	290	164	▲141
政策5	①刑法犯発生件数	件	68	45	54	+6
	②交通事故発生件数(人身)	件	17	15	17	+7

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①移住相談件数：26件、移住定住奨励金：15件 空き家バンク：登録9件 成約2件、お試し住宅 利用：3件、オーダーメイドツアー：1回 ②夜間結婚相談の告知に努めたが相談は1件 ましこココハウスは、育脳を意識した事業に取り 組みを始めた。</p> <p>2 ①新規整備予定地区(生田目・本沼地区)におい て整備ヶ所等の事業調整 ②バイオマスストーブ：1件 太陽光発電：3件 蓄電池：5件の補助金交付 ③生ゴミ処理事業：家庭家 64t(全88t) エコ土曜日 8/8 を実施し資源物回収(8t)に努め た。 ④資源物回収奨励事業：回収 150t(第1四半期)</p> <p>3 ①健康デー参加者：101名 健康ポイント新規者：11名 ②チャレンジクラブ会員募集をお知らせ版へ掲 載。クラブ運営について感染症対策への検討。 クラブ会員：386名(前年同期527名) ③④健康デーを再開したが、集団講話は中止。栄 養相談と保健指導のみ実施：6名</p> <p>4 ①6月より感染症対策を施し各種教室・サロ ン(一部休)の活動開始。 デマンド運行利用者：6,363人(前年同期8,057)</p> <p>5 ①青色防犯パトロールを実施や、特殊詐欺等への 注意喚起を行った。また、防犯灯を32基新設 特殊詐欺対策電話購入機補助：11件 ②交通安全教室の実施、通学路安全対策推進協議 会を開催 交通安全教室：22回 866人(内高齢者1回10 人) 免許返納：13人 通学路安全対策推進協議会で危険個所12カ所受 理 7月にバイクの単独死亡事故発生</p>	<p>1 ①地方での生活が見直されているため、なお一層 移住検討者に寄り添った支援を行う。また、オン ライン相談の準備を進めて行く。空き家バンクは 制度のPRを行い、関係課と連携し優良物件の掘 起しに努める。 ②夜間結婚相談は周知方法を改善し相談者増に 繋げて行く。ましこココハウスは利用者が戻っ て来ているので、育脳や世代間交流事業の実施に より利用者増を図る。</p> <p>2 ①里山整備については、次年度の整備団体の発掘 を行う。前沢町有林の整備について検討を行う。 ②各種補助事業のPRを行い再生可能エネルギ ー普及を図ると共に、産学官連携の先進事例につ いても情報収集を行う。 ③家庭用の生ゴミ減少に向け、キャッシュバック 事業の周知を取扱い事業者の方にも依頼し生ゴ ミ処理量の増を推進する。 ④資源物回収団体へ奨励金の円滑な交付を図る。</p> <p>3 ①コロナ感染症対策を行い各事業の再開を図る。 ②会員の加入促進を図るとともに、助成金廃止後 の運営方法の検討を行う。 ③④感染症予防対策を考慮し、実施できる事業内 容の検討を行う。</p> <p>4 ①感染症について過敏になっている方多いため、 予防対策や正しい知識の普及に努めて行く。サロ ンが、全て活動できる様、相談・支援を行う。 デマンドタクシーについては、感染防止対策を徹 底し安心して利用できる環境づくりを進める。</p> <p>5 ①青色防犯パトロールを引き続き行い、特殊詐欺 についても注意喚起を随時行う。 ②警察と協力し交通安全の呼びかけを行うとと もに、小中学校・高齢者学級等で交通安全教室を 開催する。 通学路安全対策推進協議会で危険個所について は、現場視察を行い対応を検討。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	80.0	—	—
政策1	①人口の社会動態	人	▲114	±0	▲148	▲34
	②年間出生数	人	112	185	80	▲32
政策2	①里山整備実施箇所数(累計)	箇所	36	40	39	+3
	②エネルギー自給率	%	56.7	30.0	—	—
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	421	220	—	—
	④ごみの分別リサイクル率	%	28.1	50.0	—	—
政策3	①健康寿命の推定値	歳	男 80.3 女 84.0	男 80.0 女 85.0	—	—
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	16.3	30.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	20.3	14.0	—	—
	④メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.0	—	—
政策4	①介護予防教室等の参加者数	人	342	290	171	▲147
政策5	①刑法犯発生件数	件	68	45	95	+27
	②交通事故発生件数(人身)	件	17	15	20	+3

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①移住相談件数：34件、移住定住奨励金：4件 お試し住宅利用：6件、オーダーメイドツアー：2回、空き家バンク：登録5件 成約3件 ②夜間結婚相談：0件 婚活イベント：1組成立 ましこココハウスは、育脳を意識した事業に取り組みを行った。</p> <p>2 ①新規整備地区(生田目2ヶ所・本沼地区)との整備に関する協定締結 ②バイオマスストーブ：0件 太陽光発電：6件 蓄電池：2件の補助金交付 ③生ゴミ処理事業：家庭系 61t(全86t) エコ土曜日を10月、12月に実施し資源物回収(6.7t)に努めた。 ④資源物回収奨励事業：回収129t(第2四半期)</p> <p>3 ①健康デー参加者：171名(新規10名) 健康ポイント新規者：7名 ②チャレンジクラブ会員募集をお知らせ版へ掲載。今後のクラブ運営についての検討。 クラブ会員：434名(前年同期580名) ③④健康デーを再開したが、集団講話は中止。食生活・適正体重に関する資料配布し、栄養相談と保健指導を実施：21名</p> <p>4 ①感染症対策を行い各種教室・サロン等の活動開始。 デマンド利用者：9,812人(前年同期▲2,309)</p> <p>5 ①青色防犯パトロールを実施や、特殊詐欺等への注意喚起を行った。また、防犯灯を21基LED化新設は2基 特殊詐欺対策電話購入機補助：7件 ②交通安全教室の実施、通学路安全対策推進協議会を開催 交通安全教室：22回 1,656人(内高齢者1回 30人) 免許返納：14人 通学路安全対策推進協議会で危険個所6ヶ所の対策検討と検討済みの工事の情報共有を行った。</p>	<p>1 ①相談件数が伸びており、なお一層移住検討者に寄り添った支援を行い移住へ繋げてゆく。また、オンライン相談の体制整備が整ったため、積極的な活用を図る。空き家バンクは制度のPRを行い、関係課と連携し優良物件の掘起しに努める。 ②夜間結婚相談は今後の状況により実施の可否を検討する。ましこココハウスは、育脳や世代間交流事業の実施により利用者増を図る。</p> <p>2 ①里山整備については、新規管理団体の活動、管理状況を把握し整備活動の支援を行う。 ②各種補助事業については更なるPRを行う。再生可能エネルギー普及については、産学官連携の先進事例の情報収集を引き続き行う。 ③エコ土曜日の預かれる物品の周知徹底を図る。 ④自治会長会議、育成会長会議等で資源物回収に係る補助金のPRを図る。</p> <p>3 ①コロナ感染症対策を行い各事業を実施すると共に予防教室等で健康ポイントの周知を図る。 ②会員の加入促進を図るとともに、助成金廃止後の運営方法や町からの支援の検討を行う。 ③④感染症予防対策を踏まえたうえで、実施できる事業内容の検討を行う。</p> <p>4 ①感染症に慣れ、予防が不十分な方もいるため、再度、予防対策や正しい知識の普及に努めて行く。各教室等の実施方法についても確認を行い適切な予防対策を行う。 デマンドタクシーについては、感染防止対策を徹底し安心して利用できる環境づくりを進める。</p> <p>5 ①刑法犯が前年比増加のため、引き続き注意喚起を行い被害防止に努める。 ②交通事故も前年比増加のため警察と協力し交通安全の呼びかけを行うとともに、交通安全教室を開催し抑制を図る。 スクールガードの勧誘チラシを作成し、新規スクールガードの確保に努める。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	本年度総括 (第4四半期含)
------	---------------	-------------------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	80.0	—	—
政策1	①人口の社会動態	人	▲114	±0	▲148	▲34
	②年間出生数	人	112	185	80	▲32
政策2	①里山整備実施箇所数（累計）	箇所	36	40	39	+3
	②エネルギー自給率	%	56.7(H30)	30.0	57.1(R1)	+0.4
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	421	220	449	+28
	④ごみの分別リサイクル率	%	28.1	50.0	26.3	▲1.8
政策3	①健康寿命の推定値	歳	男 80.3 女 84.0	男 80.0 女 85.0	— —	— —
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	16.3	30.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	20.3	14.0	21.4	+1.1
	④メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.0	11.0	▲0.1
政策4	①介護予防教室等の参加者数	人	342	290	171	▲171
政策5	①刑法犯発生件数	件	68	45	98	+30
	②交通事故発生件数（人身）	件	17	15	25	+8

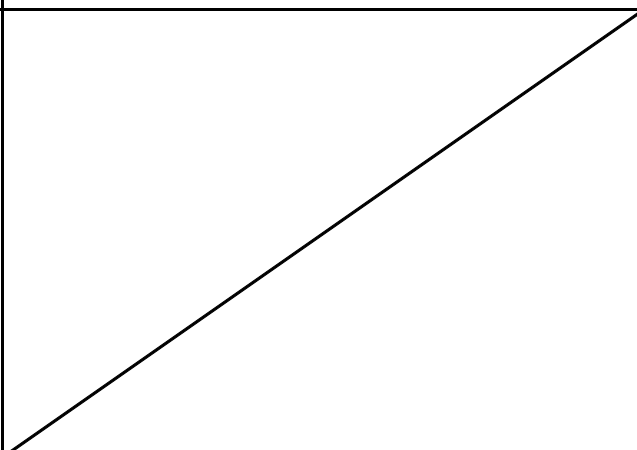
実施内容・成果の総括	次年度への方針
<p>1 ①移住相談件数：127件、移住定住奨励金：52件 お試し住宅利用：13件、空き家バンク：登録26件 成約15件など全て前年を上回った。 ②夜間結婚相談：4件 婚活イベント：1組成立 ましこココハウスは、育脳を意識した事業の実施 R3子育てガイドブック改訂を実施した。</p> <p>2 ①3地区（生田目2ヶ所・本沼地区）で新規整備 ②環境関連補助金交付 バイオマスストーブ：3件 太陽光発電：13件 蓄電池：9件 V2H：0 で補助金については前年並みであった。 ③生ゴミ処理事業：家庭系246t（全337t） エコ土曜日を実施し資源物（18.9t）や小型家電 等の回収に努めた。 ④資源物回収奨励事業：424t（第3四半期迄）</p> <p>3 ①健康デー参加者：429人（新規10人） 健康ポイント参加者：749人（新規35人） ②チャレンジクラブ会員募集をお知らせ版へ掲載。 今後のクラブ運営（補助金廃止後）についての検討。 クラブ会員：436人（前年同期586人） ③④健康デーを再開したが、集団講話は中止。食生活・適正体重に関する資料配布し、栄養相談と保健指導を実施：52人とコロナ禍の影響あり。</p> <p>4 ①運動教室、サロン等の活動は感染症対策を実施し、一時期のみの開催となった。 デマンドタクシー利用者：12,888人（前年同期▲2,565） 登録者：3,472人（前年同期107増）</p> <p>5 ①青色防犯パトロールを実施や、特殊詐欺等への注意喚起。 防犯灯を51基LED化、新設は38基 特殊詐欺対策電話購入補助：28件 ②交通安全教室：74回 3,743人（内高齢者1回30人） 免許返納者：47人 通学路安全対策推進協議会では対策一覧表を町HPへの掲載、 スクールガード確保のための広報活動等安全対策に取り組んだ。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em;">/</div>

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%		
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	±0人	現状値	▲148人（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務	①②相談【企：2件】【道：6件】 ③奨励金【交付決定：12件】 ④お試し住宅【利用：1件】 関係人口創出ツアー関係者打合せ(4/21) ⑤バンク【登録：2件】【成約：4件】		
	5月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアーの受付・実施、関係人口創出ツアーの検討、栃木県移住支援事業※の周知・申請受付 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査	①②相談【企：2件】【道：7件】 ③奨励金【交付決定：4件】 ④お試し住宅【利用：0件】（コロナによるキャンセル） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(5/27) ⑤【登録：2件】【成約：0件】 空き家バンク制度案内チラシを固定資産税納税通知書に併せて送付（全件）		
	6月	※ 東京23区の在住者等が、県が運営する企業情報掲載サイトに掲載された求人へ新規就業し、県内市町に移住した場合に、国・県・町が支援金を交付する事業	①②相談【企：3件】【道：10件】 ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：1件】 オーダーメイドツアー実施（6/1、6/23、6/27） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(6/30) ⑤【登録：0件】【成約：2件】		
	7月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務	①②相談【企：1件】【道：8件】 近隣の工業団地内企業225社に移住案内冊子を送付した。 ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は前月から引き続き） オーダーメイドツアー実施（7/8） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(7/9、7/17、7/29) ⑤バンク【登録：4件】【成約：0件】		
	8月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアー・関係人口創出ツアーの参加者募集・実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付	①②相談【企：0件】【道：7件】 ③奨励金【交付決定：5件】 ④お試し住宅【利用：1件】 関係人口創出ツアー関係者打合せ(8/11) ⑤バンク【登録：1件】【成約：2件】 空き家対策検討会議（8/26）		
	9月	⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査	①②相談【企：4件】【道：6件】 ③奨励金【交付決定：8件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は前月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(9/2、9/11、9/23、9/29) 関係人口創出ツアー参加者募集イベント（9/15、オンライン） 関係人口創出事業「栃木ゆかりのみ」打合せ（9/15） ⑤バンク【登録：4件】【成約：1件】		
	10月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務	①②相談【企：2件】【道：3件】【ツアー：2件】 ③奨励金【交付決定：0件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は9月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ・準備等(10/2、10/6、10/15) 関係人口創出ツアー参加者募集イベント（10/21、オンライン） 関係人口創出ツアー第1回開催（10/3）申込み11名、参加10名 関係人口創出事業「栃木ゆかりのみ」（10/6、オンライン） オーダーメイドツアー実施（10/29） ⑤バンク【登録：1件】【成約：2件】		
	11月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアーの参加者募集・実施、関係人口創出ツアーの実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査	①②相談【企：5件】【道：15件】【ツアー：2件】 ③奨励金【交付決定：1件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は10月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ・準備等(11/9、11/13、11/17) 関係人口創出ツアー第2回開催（11/14-15）申込み7名、参加7名 関係人口創出事業「栃木ゆかりのみ」反省会（11/24、オンライン） オーダーメイドツアー実施（11/14） ⑤バンク【登録：2件】【成約：1件】		
	12月		①②相談【企：3件】【道：6件】【ツアー相談会：1件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は11月から引き続き） ⑤バンク【登録：2件】【成約：0件】		
	1月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務	①②相談【企：1件】【道：9件】 1/10二十歳の集いにて参加者にましこ里山手帖を配布 ③奨励金【交付決定：4件】 ④お試し住宅【利用：1件】（12月から引き続き） ⑤バンク【登録：3件】【成約：1件】		
	2月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアーの参加者募集・実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付	①②相談【企：0件】【道：10件】 ③奨励金【交付決定：4件】 ④お試し住宅【利用：1件】（1月から引き続き） ⑤バンク【登録：3件】【成約：2件】		
	3月	⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査	①②相談【企：1件】【道：16件】 ③奨励金【交付決定：7件】 ④お試し住宅【利用：0件】（緊急事態宣言によりキャンセル） ⑤バンク【登録：2件】【成約：2件】		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>1～6月の社会増減：▲117人（転入：323人、転出：440人）</p> <p>①②第1四半期における相談件数は昨年度と同程度であり（R2：30件、R1：32件、H30：25件、H29：29件、H28：13件）、昨年度と同様に道の駅での相談件数が伸びている（R2：23件、R1：21件、H30：15件）。</p> <p>④お試し住宅は、新型コロナウイルスによる都市部との往來の制限により利用がキャンセルとなった期間（5/1～5/31）はあったものの、それ以外は切れ目なく利用された。オーダーメイドツアーは、お試し住宅利用者2件、移住検討者1件の利用があった。</p> <p>⑤空き家バンクについては、昨年度に引き続き固定資産税納税通知書（全件）に制度案内チラシを同封して周知を図り、6月末までに15件の相談があった。しかし、家屋の老朽化が進んでいたり、調査の結果進入路が確保できない土地である等、登録が困難な物件も増えてきている。また、優良な物件は早期に成約となることが多く、登録物件の充実が課題となっている。</p>	<p>①②新型コロナウイルスの影響により都市部との往來が制限された期間があったが、都市部での生活を見直して地方で暮らしたいと思う方々からの相談が一定数あり、相談件数は前年度と同程度であるため、移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていく。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、オーダーメイドツアーの利用勧奨を始めとした入居者へのフォローを積極的に行っていく。関係人口創出ツアーについては、参加者の募集方法やツアー内容について十分検討し、参加者の確保とツアー終了後も当町に関わり続けられる仕組みづくりを進めていく。オーダーメイドツアーについては、利用促進に向けPRしていく共に、訪問先を開拓していく。</p> <p>⑤空き家バンク制度の認知度が上がり相談件数は伸びているが、登録が困難な物件についての相談も増えてきた。登録できそうな空き家そのものの数は一定数あると見込まれるため、登録物件の充実に向け、物件の掘り起こしに努めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>1～9月の社会増減：▲132人（転入：431人、転出：563人）</p> <p>①②第2四半期までの相談件数は前年同期比で2割程度（9件）増加しており、H30以降は道の駅で相談する割合が多くなっている。（相談件数：R2：56、R1：47、H30：47、H29：60、H28：22）（うち道の駅：R2：44、R1：31、H30：29、H29：16、H28：0）</p> <p>④お試し住宅は、第1四半期に引き続き切れ目なく利用があった。10/3開催の関係人口創出ツアー（第1回）に向け、打合せや参加者募集イベント（オンライン）を開催した。また、新たな取組として、小山市出身の永井氏が栃木県出身の県外在住者等と呼びかけて定期的に実施している「栃木ゆかりのみ」（飲食を伴う交流会）の市町ごとに実施するオンライン企画に参加するため、打合せを行った。オーダーメイドツアーは、お試し住宅利用者1件の利用があった。</p> <p>⑤空き家バンクは、上半期の登録件数及び成約件数ともに微増傾向にある。しかし、引き続きの傾向として優良な登録物件は登録後早期に成約となるため、常時登録されている物件数が少ないことが課題である。また、空き家調査の実施に向け関係課による会議が開催された。</p>	<p>①②緊急事態宣言の解除やコロナ禍を機に地方での生活に関心が高まっていることもあり、相談件数は過去2年間に比べ伸びている。移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていくと共に、新たな手段としてオンラインでの相談に対応できる体制を整えていく。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。また、来年度が制度上の最終年度となるため、より効果的な支援のあり方を検討する。</p> <p>④お試し住宅については、引き続き入居者へのフォローを積極的に行っていく。関係人口創出ツアー及び「栃木ゆかりのみ」については、開催に向け準備を進めると共に、その後も関わり続けられる仕組みを検討する。オーダーメイドツアーについては、利用促進に向けPRしていく共に、訪問先を開拓していく。</p> <p>⑤空き家バンクについては、弾力的な制度運用により登録物件は継続的に確保できているが、優良物件の確保に向け、他課と連携した空き家調査や制度の周知により、物件の掘り起こしに努めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>1～12月の社会増減：▲148人（転入：517人、転出：665人）</p> <p>①②第3四半期までの相談件数は前年同期比で3割程度（22件）増加しており、特に道の駅での増加が75%程度と大きかった。（相談件数：R2：90、R1：68、H30：65、H29：76、H28：28）（うち道の駅：R2：68、R1：39、H30：40、H29：22、H28：0）</p> <p>④お試し住宅は、引き続きほぼ切れ目なく利用があった。関係人口創出ツアーは、10月は日帰りで、後継者がいなくなった果樹園の担い手として移住した2名の若者（地域おこし協力隊）と交流するツアーとした。11月は1泊2日で、昨年度に引き続き里山の景観保全活動に取り組むUターン若者（元地域おこし協力隊）と交流するツアーとし、本町と2地域居住で景観保全活動に参加する昨年度のツアー参加者1名が今回は主催者側に加わった、終了後、地域住民と参加者によるSNSのグループの設立やその活用による情報交換等も行われており、事後も当町に関わる関係人口の創出に一定の成果があった。「栃木ゆかりのみ」は、本イベントや益子町に興味・関心のある方12名の参加があった。今後の発展に期待したい。オーダーメイドツアーは、お試し住宅利用者1件と一般受付1件の利用があった。</p> <p>⑤空き家バンクは、登録物件は持続的に増えているが、優良な物件は早期に成約してしまうため、引き続き物件確保に努める必要がある。</p>	<p>①②第2四半期に引き続き、相談件数が伸びている。移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていくと共に、新たな手段としてオンラインで相談できる体制が整ったため、今後もニーズに合わせ対応していく。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、利用者の移住が累計で6件実現しているため、運用期間を来年度末まで延長すると共に、入居者へのフォローを引き続き積極的に行っていく。関係人口創出ツアーについては、受入側が自走していけるよう今後の町の関わり方について検討する。「栃木ゆかりのみ」については、一過性のものにせず、参加者たちとの今後の関わりしるの創出について検討する。オーダーメイドツアーについては、引き続き利用者の確保に向けPRを続けると共に、訪問先の開拓を進める。</p> <p>⑤空き家バンクについては、優良物件の確保に向け、他課と連携し引き続き物件の掘り起こしに努めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②相談件数は前年度比1.5倍程度（40件の増）となっており、特に道の駅での相談が倍増した。（相談件数：R2：127、R1：87、H30：91、H29：99、H28：49）（うち道の駅：R2：103、R1：50、H30：55、H29：27、H28：5）</p> <p>③定住促進住まいづくり奨励金の交付件数は52件で、前年度より10件の増だった。うち転入者については22件であり、3件の増であった。</p> <p>④お試し住宅は切れ目なく予約されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により本県を含め緊急事態宣言が発令となったため、3月の利用はキャンセルとなった。</p> <p>⑤空き家バンクについては、登録は前年度比で5件（24%）の増、成約は6件（50%）の増となっており、ニーズの高まりが数字に表れた結果となった。引き続き登録物件の充実を図っていく必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

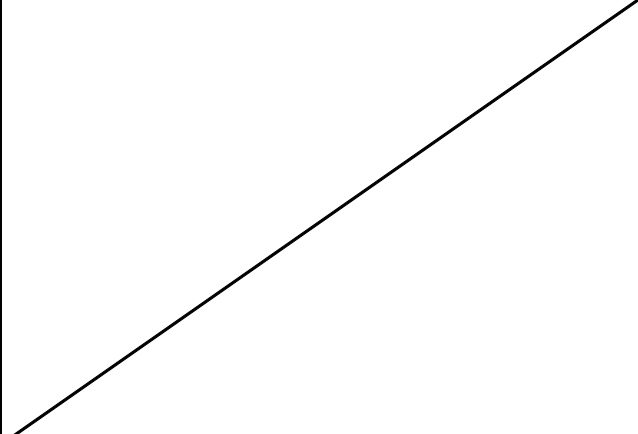
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	<p>①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし</p> <p>②意見・提言 ・コロナ禍で進まなかった事業を、逆転の発想（コロナ移住として新聞掲載された）でサポートしていくのも方法ではないかと思う。 ・住みたい町をめざし、選ばれる町になるよう努力を続けていっていただきたい。 ・コロナ禍でも、お試し住宅、空き家バンク、オーダーメイドツアーの利用者や件数もあることから、継続し、さらに今後の成果を期待したい。</p>	<p>内部検証および外部検証結果を踏まえ、コロナ禍でも実施できる方法を検討し、取組を進めていく。</p>
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	<p>①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員</p> <p>②意見・提言 ・道の駅での相談も上昇傾向であり、成約も増えている。今後もニーズに柔軟に対応しながら継続されたい。</p> <p>・コロナ禍のなか、相談件数が増加傾向とのことだが、依然として先が見えない今、SNS、オンラインなどで対応して、益子町の人口減少・少子化対策を進めて欲しい。</p> <p>・人口減に歯止めがかからないが、移住定住へのアプローチは引き続き取り組んでいただきたい。</p>	
	第4四半期	<p>・コロナ禍でも移住相談件数が増加しているなど、取組自体は評価できるものであると思うので、今後も継続しさらに成果を期待したい。</p> <p>・移住相談件数の増加は益子への関心の表れと思われるので、今後も努力されたい。</p>	

		課局名	観光商工課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%		
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	±0	現状値	▲148人（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置	
	5月	①②就職や起業に関する情報を希望者へ提供する		②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置	
	6月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置	
	7月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	8月	①②就職や起業に関する情報を希望者へ提供する		②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	9月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	10月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	11月	①②就職や起業に関する情報を希望者へ提供する		②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	12月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	1月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置。求職者向け人材育成セミナーチラシ及び合同就職面接会チラシを町内各所に配布し周知（36ヶ所）。	
	2月	①②就職や起業に関する情報を希望者へ提供する		②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置	
	3月			②役場ホールや道の駅等に求人情報誌を設置	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②求人情報誌が届いたら速やかに役場ホールや道の駅等に設置。関係施設等に今後、設置依頼をする。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ、就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②求人情報誌が届いたら速やかに役場ホールや道の駅等に設置。関係施設等に求職者向け人材育成セミナーチラシの設置依頼をする。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ、就職情報提供や求職者の支援につながるように努める。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②求人情報誌が届いたら速やかに役場ホールや道の駅等に設置。関係施設等に求職者向け人材育成セミナーチラシの設置依頼をする。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ、就職情報提供や求職者の支援につながるように努める。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②求人情報誌が届いたら速やかに役場ホールや道の駅等に設置。関係施設等に求職者向け人材育成セミナーチラシの設置依頼をする。</p>	

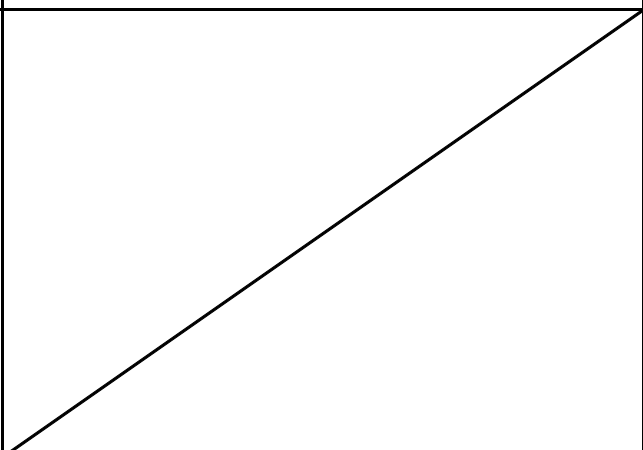
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	求職者に最新情報が届けられるよう、魅力ある益子町として定住してもらえるよう情報提供に努めたい。
	第2四半期	②意見・提言 ・人口減少に効果的な求人情報の提供に期待したい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A:目標を達成・・・0委員 B:目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C:成果が見えず取組を継続すべき・・・5委員 D:成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・就職や起業に対する取組はわかるが、成果が目に見えて表れていないので、今後の努力に期待する。 ・就職・起業の情報を、情報紙・チラシの作成だけにとどまらず、求職者に直接アプローチできるような方法を考えていかなければならない。 ・今までの取組+αの取組が必要と思われる。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	住み続ける町への躍進	進捗状況	100%		
KPI	年間出生数（暦年：1～12月）	本年度目標値	185人	現状値	80人(1～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①子育て応援手当の支給準備。住基台帳から対象者抽出。 ②ましこココハウススタッフ募集。学童保育代行。 ③結婚新生活支援補助金のチラシ・婚姻届時アンケート配布を住民課に依頼。 ④保育所等の新型コロナウイルス関連記事HP掲載。		
	5月	①子育て応援手当の前年度の反省、今年度の実施方法の検討。 ②子ども子育て支援拠点施設の充実。 ③婚活支援事業の見直し、検討。 ④情報発信事業の検討。	①子育て応援手当の発送準備。コロナ対策、ひとり親対策検討。 （1人2万円、年長児4万円、小6児6万円、ひとり親児1人2万円） ②ましこココハウススタッフ募集。学童保育代行。 ③地域少子化対策重点推進交付金交付申請。夜間結婚相談再開決定。 ④保育所等の新型コロナウイルス関連記事HP掲載、更新。		
	6月		①子育て応援手当（対象者1874件、3254人、7694万円）申請1648件 ひとり親応援手当（対象者154件、229人、458万円）申請138件 ②スタッフ採用、年間計画再検討。町外利用可。 ③夜間結婚相談会（6/19）相談者2人 結婚相談連絡協議会開催（6/23） ④夜間結婚相談お知らせ版掲載、ポスター掲示。		
	7月		①子育て応援手当 申請142件、ひとり親応援手当 申請11件 ②作業療法士講師による「できるかな？」実施（参加者12人）。 ③結婚相談員情報交換会（7/14） ④「できるかな？」「親子ヨガ」参加者募集記事お知らせ版掲載		
	8月	①子育て応援手当の支給。 ②子ども子育て支援拠点施設の充実。 ③婚活支援事業の実施。 ④情報発信事業の実施、検討。	①子育て応援手当 申請46件、ひとり親応援手当 申請7件 未申請者再通知（月末） ②親子ヨガ実施（参加者14人）。音楽遊び（毎月1回）実施。 ③芳賀地方広域結婚相談員情報交換会中止 ④ファミリーサポートセンター提供会員募集お知らせ版、HP掲載 子育て応援手当周知お知らせ版掲載（上旬）		
	9月		①子育て応援手当 申請24件 累計（1,859件 3,237人 7,658万円） ひとり親応援手当 申請0件 累計（153件 228人 456万円） ②県外利用可。9月の利用者：565人（県外23人） ③夜間結婚相談会（9/18）相談者1人 ④夜間結婚相談お知らせ版掲載、ポスター掲示。 子育て支援員研修の案内窓口設置、HP掲載。		
	10月		②ファミリーサポートセンターの子どもの預かりの場所として ましこココハウスも可能とした。 赤十字幼児安全法講習会実施（10/28）参加者：大人9、子ども12 ④新年度保育所等園児募集お知らせ版掲載 子育て応援手当アンケート結果HP掲載		
	11月	②子ども子育て支援拠点施設の充実。新年度の計画（当初予算）。 ③婚活支援事業の実施。 ④情報発信事業の実施。	②親子ヨガ実施（11/11）参加者：大人6、子ども6 ③社会福祉協議会婚活イベント（11/14） 参加者：男8、女2（カップル1組） ④子育てガイドブック作成開始		
	12月		②クリスマス・イベント実施（12/23）参加者：大人21、子ども21 ③夜間結婚相談会（12/18）相談者0人 ④子育てガイドブック校正依頼（各課・各園・社協） マイナポータル（ぴったりサービス）HP掲載		
	1月		②ましこココハウス購入図書選定 ③夜間結婚相談HPアップ ④子育てガイドブック保健センターにて配布		
	2月	①次期計画子育て応援手当の検討 ②子ども子育て支援拠点施設の充実。 ③婚活支援事業の検討。 ④情報発信事業の実施。	②親子ヨガ実施（2/15）参加者：大人6、子ども7 図書・屋外遊具購入 ③夜間結婚相談を予約制に。お知らせ版、HP更新		
	3月		①子育て応援手当ましこ移行検討 ②ひな祭りイベント実施（食改さん協力） ③結婚相談員意見交換会（3/16） 縁組報奨金増額、とちぎ結婚支援センター入会登録料補助金制度 夜間結婚相談実施（3/19）相談者1名（予約者） ④R3子育てガイドブック作成		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①子育て応援手当87.94%、ひとり親応援手当89.61%の申請が済んだ。新型コロナウイルス対策の衝立を増やし、カウンターを広く使えるようにしたことでスムーズな受付ができた。 ただ、昨年地域通貨を使い残してしまい、期限が切れてしまった方がいた。観光商工課での交換期間も5月末までのため、交換できなかった。 ②新型コロナウイルスにより、学童保育を代行したり、利用者を制限したこともあり、利用者が激減している。自動販売機も撤去となってしまった。 ③例年行われていた社会福祉協議会の婚活イベントが実施できなかった。今年度の開催は慎重にならざるを得ない。 ④新型コロナウイルスに関連するHP掲載・更新のほか、保育所等についての保育料を更新。 子育てガイドブックの着手に至らなかった。</p>	<p>①8月のお盆休みを利用できるタイミングで未申請者の申請を促す。 ②イベントを開催するほか、利用者の範囲(地域)を広げていき、利用者の増加を図る。ファミリーサポートセンターの提供会員を募集する。 ③結婚相談員の情報交換会等を実施する。とちぎ未来クラブの地域結婚サポーターとの連携を図る。 ④子育てガイドブックについて、移住関係の冊子と連携できないか検討する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①子育て応援手当99.20%、ひとり親応援手当99.35%の申請が済んだ。 未申請の方は辞退と考える(転出世帯もある)。 ②町外、県外の利用者受入も始まり、利用者数が戻って来ている。(9月末延1,763人)育脳を意識して事業に取り組んでいる。 ③結婚相談員の情報交換会に、とちぎ未来クラブの地域結婚サポーター(民生委員)にも参加してもらった。婚活イベントについて前向きな意見もあったが、結婚相談員等による実施は来年度の見通し。 ④ファミリーサポートセンターの提供会員の応募はなかったが、随時募集している旨HP更新。保育所等園児募集にあわせ保育所等一覧表を更新した。</p>	<p>①新ましこ未来計画(H28~R2)による子育て応援手当が概ね終了した。 ②土日をお楽しみデーとして利用者増に努める。世代間交流事業も計画する。 ③夜間結婚相談会の周知方法を、イメージしやすいように改善したい。 ④子育てガイドブックについては、移住ガイドブックの今年度の作成予定がないため、単独で軽微なものに着手したい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②ファミリーサポートセンターの利用はないが、クリスマス・イベントはたくさんの参加者がいた。新型コロナウイルス感染者が増えており、イベントについては十分な対策が必要。 ③夜間結婚相談者はいなかった。元々男性の相談者しかいないので、有効性は実感できない。 ④ぴったりサービスの利用実績がない(他町も同様)のでHP掲載等周知した。職員に手続きを試してもらうなど事務作業の確認したが、利便性は実感できなかった。</p>	<p>②新型コロナウイルス感染症流行の様子を見ながら、日頃の運営やイベント開催については慎重にすすめたい。 ③次回3月の夜間結婚相談会については、新型コロナウイルスの流行からも実施の可否を検討したい。 ④ぴったりサービスは国がすすめているネットサービスなので継続。令和2年版の子育てガイドブックの発行後、令和3年度版の作成開始。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①子育て応援手当のましぼへの移行については、取り扱い店の店舗数や店舗内容に問題を感じる。 ②世代間交流やボランティア育成事業にも取り組む必要がある。 ③夜間結婚相談者をその先(マッチング等)に繋げる手立てが必要。 ④子ども子育て会議での意見を取り入れ、子育てガイドブックを一部修正する。</p>	

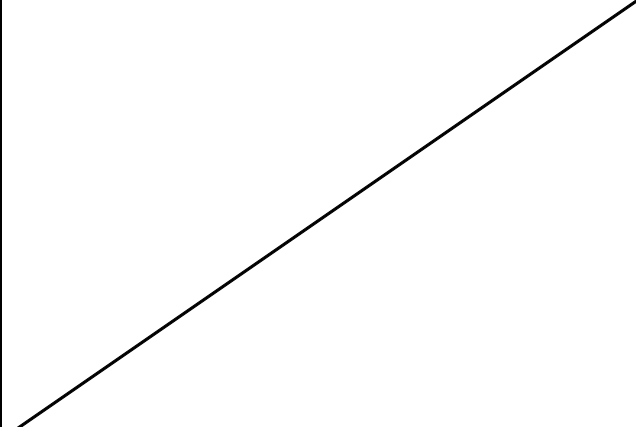
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援手当は現在策定中の次期計画にも掲載し、婚活についても「出会いの場の支援」を次期計画で検討したい。 ましこココハウスについては10月から土・日のお楽しみデーを実施するほか、音楽遊びやイベントなども充実したい。
	第2四半期	②意見・提言 ・子育て応援手当の充実と、若者の婚活への努力を続けていただきたい。 ・ましこココハウスの土日の利用者から土日の活動を充実させて欲しいとの意見を聞いたので、現在はコロナ化で工夫が必要かもしれないが、検討していただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・年間出生数は減少の一途をたどっているが、子育て支援・手当てをましこココハウスでの事業展開に集客に対する工夫が見える。出生数・人口増加につながる一助になるのではないかと。	
	総括（第4四半期も含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によりいろいろな行事の中止等がありなかなか成果が上がらないが、今後の状況の変化により目標に向かって努力された。子育て応援手当は今後も期待している。 ・出生数が減少しているが、コロナ禍ということもあり、町の取組だけの問題ではないと思われる。引き続き取り組まねたい。 ・目標値にはほど遠い成果である。 ・コロナの影響もあつてか目標値には届かなかったが、次期計画内容に期待する。 	

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	40箇所	現状値	39箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①②森林・山村多面的機能発揮対策事業書類作成補助 ④前沢町有林維持管理業務設計積算		
	5月	①②里山林整備に向けた整備箇所の把握 ①②整備箇所等の地元合意形成状況の把握 ④前沢町有林整備の検討	①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金交付申請 ①②西山里山の会下刈り作業参加 ①②益子花の会下刈り作業参加 ④入札の実施（町有林）		
	6月		①②ましこの森下刈り作業参加 ①②新規整備地区説明会（生田目地区） ①②林地開発防災パトロール参加 ④業務委託契約の締結（町有林）		
	7月		④林道生田目線駐車場除草作業実施 ④前沢町有林遊歩道除草作業実施		
	8月	①②整備箇所に係る設計書の作成 ①②整備箇所に係る協定書の締結 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	①②新規整備地区（生田目地区、本沼地区）打合せ ④林道生田目線駐車場除草剤散布作業実施		
	9月		①②森林経営管理制度研修会出席 ①②とちぎの元気な森づくり交付金変更交付申請 ①②林地開発防災パトロール参加		
	10月		①②新規整備地区（生田目地区、本沼地区）との協定締結 ④前沢町有林維持管理作業現地打合せ		
	11月	①②整備箇所の入札の実施及び業務委託の締結 ①②活動組織へ交付金の配付 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	①②林地開発変更許可現地調査		
	12月		①②活動組織へ交付金の配布（風戸自治会） ①②ましこの森下刈り参加 ①②アカマツ復活プロジェクト間伐体験実施 ④前沢町有林維持管理業務に係る確認検査実施 ④前沢町有林の整備に係るランドスケープ事業打合せ		
	1月		①②活動組織へ交付金の配布（西明寺自治会） ①②とちぎの元気な森づくり事業状況報告 ①②森林・山村多面的事業確認検査立会（4団体）		
	2月	①②業務委託に係る確認検査等 ①②交付金の確認検査及び県へ交付申請	①②活動組織へ交付金の配布（3地区） ①②アカマツ復活下草刈り作業 ①②林地開発許可現地調査（大平地内）		
	3月		①②県東地域連絡会議出席 ①②活動組織へ交付金の支払手続き（6地区） 県東環境森林事務所への事業完了報告		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①② 令和2年度においては里山林の整備分3.0ha整備し、交付金の支払いによる地元管理分68.9haを予定している。新規整備については、地権者、整備団体、町による協定の締結を要するため、スムーズに締結できるよう支援していく必要がある。また地元管理が1年目の活動組織については交付金の管理や活動内容などの面できめ細かな支援することが不可欠である。</p>	<p>①② 里山林整備事業にあたっては町有林も含め効率的に事業を進めていくことが重要である。現地の状況を的確に把握して業務委託をすすめていく。また、整備が完了し地元管理となった箇所については下草刈など良好な管理がされているかなどを確認し、不備な箇所があれば地元管理団体に対して助言等をし支援していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①② 令和2年度の整備要望地区である生田目、本沼地区ついて、整備箇所を地元関係者と調整を行っている状況である。地権者及び地元住民との連携を密にして事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④ 里山林整備事業にあたって令和3年度新たな整備に向けて、新規活動組織の発掘をすることが必要である。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうことが必要である。町有林整備については前沢町有林の遊歩道についても検討していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①② 町有林の維持管理事業及び活動組織の一部で事業が完了した。事業完了後も地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④里山林整備事業全般については、新規活動希望組織に対して地元の合意形成ができるよう住民に対しての説明が必要になる。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法についてより深く認識してもらうよう改めての働きかけが必要である。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	

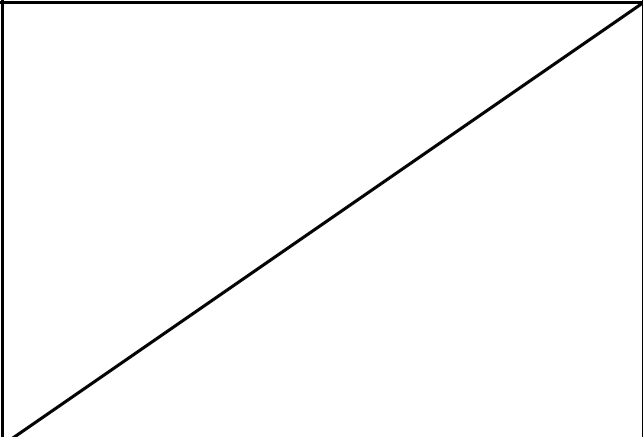
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・コロナ禍の中、益子の主力である観光産業に大きな影響が出ている。同席の委員から自然の中でのキャンプ等が話題になっているので施設整備を進めてみてはどうかとの意見があったが、同感である。検討されたい。 ・豊かな自然景観も益子の魅力の一つであるので、今後も引き続き取組を進めていただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	/
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・益子の魅力の1つでもある豊かな自然景観の整備に今後も期待したい。 ・里山事業はこれからも地道に続けていくことが大事なので、今後も努力されたい。 ・里山整備はほぼ目標どおりに達成されていると思われる。	

		課局名	農政課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	40箇所	現状値	39箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③前年度事業内容の確認検査の実施 20組織 10日間		
	5月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言	③5/29小泉・本沼地区営農ビジョン策定会議		
	6月		③6/5農地水多面的機能保全推進協議会総会 ③6/5環境保全広域協定運営委員会総会 ③6/22多面的機能保全推進協議会新任者研修会		
	7月		③7/16 多面広域化意見交換会（市貝町役場）		
	8月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言	③会計事務処理		
	9月		③中間確認検査準備作業		
	10月		③農地水中間確認検査（9日間） 広域運営委員会総会 10/11新規地区事業説明会（青田地区）		
	11月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 地域営農ビジョンの作成	③長寿命化工事入札準備（現場測量9本） 入札設計積算書の作成		
	12月		③12/16 事業執行状況確認検査（関東農政局職員3名来庁） ③12/23 環境保全広域運営委員会 長寿命化工事入札		
	1月		③新規地区（青田地区）活動エリアに関する打ち合わせ ③長寿命化工事完了検査（北中環境保全会）		
	2月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 地域営農ビジョンの作成	③長寿命化工事中間確認（前沢、上山、原、里西 他） ③2/6～3/2 生き物マップおよび写真展示（役場1階ロビー）		
	3月		③長堤水路嵩上げ工事 業者との打ち合わせ ③長寿命化工事完了検査（東田井、下大羽、里西、長堤、生田目、小泉 他） ③本体交付金および推進交付金確認検査（芳賀農業振興事務所）		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>③今年度5地区程度、農地水多面的機能支払交付金事業に関する営農ビジョンを策定する必要がある。</p>	<p>③昨年度から継続して、農地水多面的機能支払交付金事業に関する営農ビジョンの策定を行う。(埴・小泉他3地区)</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>③多面的支払交付金制度は農地の保全や施設管理が大きな目的である。したがって、防災・減災につながる施策として重要な役割を果たす。</p>	<p>③防災・減災対策として「田んぼダム」の取組も有効と考える。今後、農地水広域委員会総会を通じて、PRしていく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>③青田地区において事業参加の意向があることから、地区公民館において説明会を開催した。 長寿命化工事の入札において、不調が2件あった。</p>	<p>青田地区が正式に農地水の事業に参加するかどうか意思確認をする必要がある。来年度からスタートとなれば、1月中には組織の土台づくりを進めなければならない。 (役員・定款等) 長寿命化工事の不調の原因は、建設業者多忙時期による発注によるものである。交付決定が11月と遅いので、発注時期もおおのずと遅れる。早期の交付決定を求めるため、国や県に対し引き続き要望する必要がある。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>③青田地区について、来年度からの活動開始を目指し、活動エリアの話し合い等を行ったが、新型コロナウイルスにより地元での設立総会の実施等、活動開始に向けた準備が思うようにできていない状態である。 また、長寿命化工事においては、130万円以下の業者委託の小規模工事については、業者多忙により16件中4件が実施不可(来年度に持越)となった。</p>	

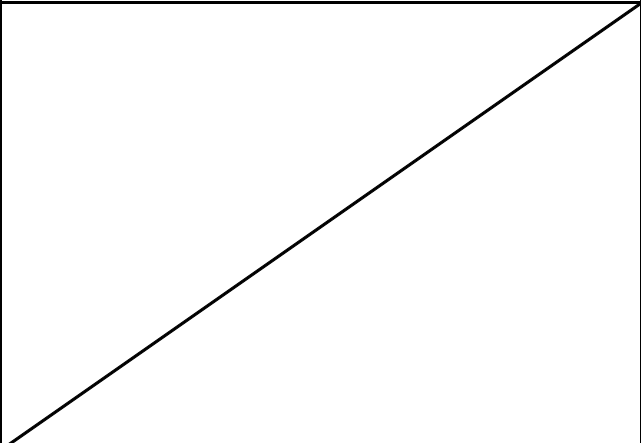
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・営農ビジョンの策定と共に、防災・減災対策の取組に期待したい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A:目標を達成・・・2委員 B:目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C:成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D:成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・住みよい町づくりの一環として、未整地の地区を進めていただきたい。 ・ほぼ目標どおりとなっている。建設業者はどこも人で不足となっているので、余裕工期での発注が必要である。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	40箇所	現状値	39箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月			小宅古墳群来場者 12,600名 小宅古墳群準備作業3/7 テント3張 机20 机50脚 案内看板14枚 その他看板30枚 旗30枚 ポスター10枚 小宅古墳群 HP2日に1度更新 マリーゴールド仮植作業12,000株 4/17 3大花祭り役員会4/20	
	5月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花祭り 3~4月 マリーゴールド育苗作業 12,000株 4月中旬~ 小宅古墳群看板撤去 40枚 4月 小宅古墳群テント撤去 4月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月		小宅古墳群看板撤去 14枚 4/14 小宅古墳群テント・テーブル・イス撤去 4/14	
	6月			マリーゴールドの苗を公共施設・幼保・学校へ配布する。約10,000株	
	7月			-	
	8月			-	
	9月			9/8ピオラ播種10,000粒	
	10月			-	
	11月	⑤花のまちづくり事業 ピオラ苗配布・植栽業務10月		11月下旬 ピオラの苗を公共施設・幼保・学校へ配布する。約5,400株	
	12月			-	
	1月			-	
	2月	⑤花のまちづくり事業 第2回ひまわりサミット 担当者会議 マリーゴールド播種作業 3月 実行委員会の開催 3月 小宅古墳群 桜・菜の花祭りの準備 3月		-	
	3月			3/18 菜の花・桜会場準備 3/24 マリーゴールド播種作業12000株	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りが中止となった。 菜の花・桜祭りも規模を縮小して開催したが、前年度以上の来場者だった。</p>	<p>次年度に向けた検討を行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭りが中止となったが、問い合わせが多数あった。 7月末よりひまわり祭りの開催について、多い時で1日10件以上の問い合わせがあり、かなりの期待度、定着度がわかった。</p>	<p>次年度に向けた検討を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、コスモス祭りが中止となったが、問い合わせが多数あった。</p>	<p>次年度に向けた検討を行う。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>・小宅 菜の花・桜 3月下旬に開花が進み、また写真撮影用の額縁・ブランコを設置した。若者の来客者の多くは写真撮影が目的で花畑に来ている。 菜の花・桜だけでなく、ひまわり・コスモスについても、撮影スポットがあること、及び開花状況の周知をすることで、より多くの来客者が見込める。</p>	

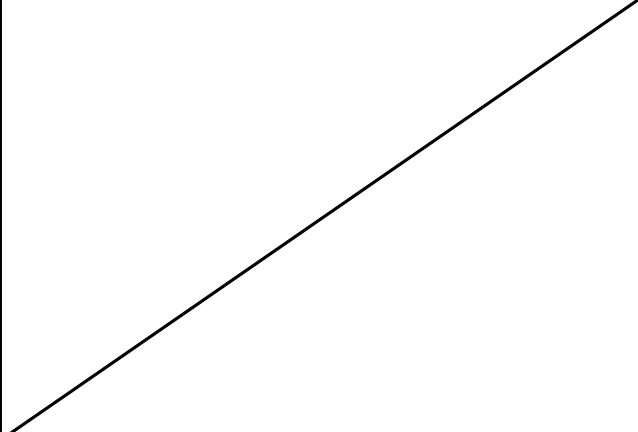
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・コロナ禍の中、イベントが中止になりとても残念だった。次年度は開催され、私たちに心の潤いをもたらしてくれることを期待したい。 ・今年はコロナ禍で計画をだいぶ縮小したので、来年はぜひ開催して欲しい。 ・期待されている事業であるため、今後も継続が望ましい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・町民や近隣の市町からの期待や定着化してきているので、今後も継続して盛り上げていただきたい。	
	総括（第4四半期も含む）	・コロナ禍で思うように活動できなかったが、取組は引き続き継続されたい。 ・コロナにあまり影響を受けずに花のまちづくりを進めることができた。 ・コロナ禍の取東後に再開されることを、町民として待ちたい。 ・コロナ禍の影響で花まつり等が中止になり大変残念。今後の活躍に期待したい。	

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発	進捗状況	100%		
KPI	エネルギー自給率	本年度目標値	30.0%	現状値	57.1%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③町HP等で掲載済 ③木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定	
	5月			③木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付確定	
	6月			③広報ましこ・おしらせ版で掲載済 ③住宅用太陽光発電システム設置費補助金1件の交付確定	
	7月			③住宅用蓄電池設置補助金3件の交付確定	
	8月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定 ③住宅用蓄電池設置補助金1件の交付確定	
	9月	③補助金の交付決定、確定及び支払い ②再生可能エネルギー普及に向けての情報等の収集検討 ①産学官の連携のための情報収集		③住宅用蓄電池設置補助金1件の交付確定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付申請	
	10月			③住宅用太陽光発電システム補助金4件の交付確定 ③住宅用蓄電池設置補助金1件の交付確定	
	11月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定 ③住宅用蓄電池設置補助金1件の交付確定 ②脱炭素に係る打合せ出席	
	12月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定 ②脱炭素に係る打合せ出席	
	1月			②太陽光発電システム補助金について、見直しを検討した。 ③住宅用蓄電池設置費補助金2件の交付確定	
	2月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定 ③住宅用蓄電池設置費補助金2件の交付確定 ②RE100打合せ出席	
	3月			③住宅用太陽光発電システム補助金4件の交付確定 ③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付確定 ②RE100打合せ出席	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③新たに太陽光発電システム関連で電気自動車等充電システム（V2H）の補助を開始した。今後家庭用蓄電池設置補助と併せて、広報ましこをはじめPRの機会がある度に、広く町民に浸透されていく必要がある。 ③太陽光発電の出力増加分（kw）実績 平成26年度 一般住宅分335kw 平成27年度 一般住宅分153kw 平成28年度 一般住宅分128kw 平成29年度 一般住宅分81kw 平成30年度 一般住宅分49kw 令和元年度 一般住宅分67kw</p>	<p>③太陽光発電システムについては従来から実施してきた補助制度であり、町民に相当浸透していると思われるが、定置型蓄電池、電気自動車等充電システム（V2H）、木質バイオマスストーブについては、広報ましこ・パンフレット等での更なるPRや、イベントや会議等でPRをして町民に対して広く浸透を図る。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③令和2年9月末時点で太陽光発電システム3件、蓄電池5件、木質バイオマスストーブ1件の補助金の交付決定をしている。蓄電池は昨年度と同数であるが、太陽光、バイオマスストーブは昨年度より減少傾向にある。</p>	<p>③補助事業については、広報ましこ等を活用してさらなるPRをし町民に対して広く浸透を図っていく。 ①②再生可能エネルギー普及についての県内市町の状況及び産学官連携先進事例の情報収集についても引き続き進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③令和2年12月末時点で太陽光発電システム9件、蓄電池7件、木質バイオマスストーブ2件の補助金の交付決定をしている。太陽光発電システムと蓄電池については、昨年の同時期と比べて増加している。木質バイオマスストーブについては減少している。新規事業のV2H（電気自動車等充電システム）については、申請が無い状態である。 ②本田技研等から、水素、太陽光発電、バイオガス等を使ってエネルギーを発生させるクリーンエネルギー事業の情報提供があった。</p>	<p>③補助事業については、広報ましこ等を活用してさらなるPRをし町民に対して広く浸透を図っていく。 ①②再生可能エネルギー普及については国策でもあり県内市町の状況及び産学官連携先進事例の情報収集についても引き続き進めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③令和元年度末で太陽光発電システム11件、蓄電池設置11件、木質バイオマスストーブ5件で、太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては、前年度とほぼ同数であった。新たに始めた蓄電池設置費補助については、予定数より多い実績であった。</p>	

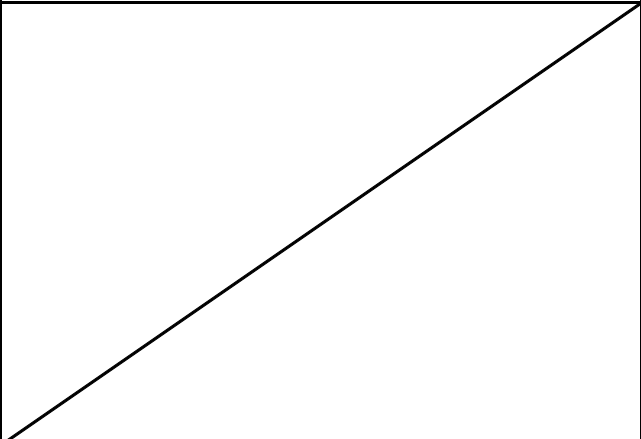
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・再生可能エネルギーの普及、啓発は今後も継続が必要である。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・4委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・目標を達成したが、引き続き進められたい。 ・目標値を上回る実績になり、自然エネルギーの利用、省エネルギーの普及が広く町民に浸透してきているということであろう。 ・太陽光、バイオマス事業は、成果が目に見える形となっていないが、今後の成果に期待したい。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	ごみの資源化・減量化の推進	進捗状況	100%		
KPI	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	本年度目標値	220g	現状値	449g
KPI	ごみの分別リサイクル率	本年度目標値	50.0%	現状値	26.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①前年度第4四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：156 t、交付件数：65件、交付金額：1,142,660円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 19 t（全24 t）・小型家電回収量 2.6 t・廃食用油回収量：0.16 t・エコ土曜日（資源物回収）4/11：2.5 t ③不法投棄防止看板 1本設置（松本）・不法投棄監視カメラ設置1台（塙）		
	5月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄防止への取り組み。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系20 t（全24 t）・廃食用油回収量：0.2 t ②広報に雑誌のリサイクル協力の記事を掲載 ③不法投棄防止看板 3本設置（北原・台町） ③益子環境Week's実施（5/10, 5/15, 5/16, 5/17, 5/24）		
	6月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系22 t（全29 t） 廃食用油回収量：0.24 t 小型家電回収：2.4 t・エコ土曜日（資源物回収）6/13：2.3 t ②生ごみリサイクル還元事業実施要綱の一部改正を行った。 ③不法投棄監視カメラ設置1台（西明寺） ③広報に不法投棄防止のための環境整備の記事を掲載 ③益子環境Week'sの実施（6/2, 6/7, 6/21, 6/28）		
	7月		①第1四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：150 t、交付件数：56件、交付金額：1,100,250円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系22 t（全30 t）・廃食用油回収量：0.2 t ③7/19百目鬼川清掃（西明寺自治会）		
	8月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄防止への取り組み。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系22 t（全30 t） 廃食用油回収量：0.22 t 小型家電回収：3 t ・エコ土曜日（資源物回収）8/8：4 t ②広報に生ごみマッシュバックキャンペーンの記事を掲載 ③8/2百目鬼川清掃（城内自治会） ③ごみステーション用監視カメラ貸出（塙上1自治会）		
	9月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系20 t（全28 t） 廃食用油回収量：0.18 t ③不法投棄防止看板：1本設置（星の宮） ③不法投棄重点監視地区看板改修（前沢町有林泥部入口）		
	10月		①第2四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：129 t、交付件数：60件、交付金額：956,500円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系21 t（全29 t）・廃食用油回収量：0.24 t 小型家電回収：0.8 t・エコ土曜日（資源物回収）10/10：1.6 t ②生ごみマッシュバックキャンペーンのPR用掲示物を作成し、袋の販売店に送付し掲示をお願いした ③不法投棄防止看板：1本設置（小泉）		
	11月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄防止への取り組み。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系18 t（全28 t）・廃食用油回収量：0.24 t ③不法投棄監視カメラ設置：（小泉・西明寺） ③環境美化連11/29（コロナ禍のため可能な27自治会で実施）		
	12月		①資源物ステーション設置補助金のPRを広報に掲載 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系22 t（全29 t）・廃食用油回収量：0.24 t 小型家電回収：2.9 t・エコ土曜日（資源物回収）12/12：5.1 t ③不法投棄監視カメラ1台購入 ③不法投棄重点監視地区看板の改修1件、新設1件（大郷戸・西明寺）		
	1月		①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：145 t、交付件数：61件、交付金額：1,064,410円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系23 t（全31 t）・廃食用油回収量：0.2 t		
	2月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄防止への取り組み。	①自治会長会議で資源物回収奨励金事業のPRを実施（2/16） ②生ごみ処理事業回収量：家庭系17 t（全25 t）・廃食用油回収量：0.2 t 小型家電回収：2.8 t・エコ土曜日（資源物回収）2/13：3.3 t ③不法投棄防止看板 3本設置（上山2本・建設課管理地）		
	3月		①ごみステーション設置補助金交付（塙上2自治会2ヶ所） ②生ごみ処理事業回収量：家庭系20 t（全30 t）・廃食用油回収量：0.2 t ③ごみステーション用監視カメラ貸出：（サヤド自治会）		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①資源物回収はR元年度において671tの回収実績があり、町の資源化量の53%を占める有効な手段である。今後も自治会や育成会にとって、資源物回収がいかにメリットがあるかPRし、取り組みやすい環境を作っていくことが重要である。今年度に入りコロナウィルスの関係自治会によっては、資源物回収ができない項目もでてきているため、回収実績の減少が懸念される。</p> <p>①自治会・育成会の回収の拠点となっているゴミステーションの設置・改修には積極的に補助金などで支援をしていきたい。</p> <p>②生ごみの家庭系は、減少傾向にあるが、事業系については増加傾向にある。家庭に向けて地道なPRを継続するとともに、まとまった排出量が期待できる事業者に対しては訪問して粘り強く勧奨していきたい。</p> <p>③常習的な不法投棄に苦慮している各自治会に対して監視カメラの貸出を行い、不法投棄防止の支援を行った。</p>	<p>①自治会や育成会に個別勧奨を行い事業実施の後押しを積極的に行っていく。</p> <p>②家庭系生ごみの分別収集をすることの意義と、分別収集にご協力いただいている町民の方に還元するものがあることをPRし協力を呼び掛けていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①資源物奨励金の算定基礎となる自治会の収集量の報告が遅れている業者があるため、自治会より委託業者の変更等についての問い合わせが寄せられている。現状を伝えるとともに実施可能な業者を紹介するなどしているが、今後も自治会との連携を図りながら奨励金の交付について進めていきたい。</p> <p>②広報に生ごみマッシュバックキャンペーンの記事を掲載したことにより、申請件数が増えてきている。引き続きPRに努め生ごみ袋を使うことの利点を周知していきたい。</p> <p>③西明寺自治会と城内自治会での百目鬼川清掃の支援を実施することができた。</p>	<p>①資源物奨励金のスムーズな交付ができるよう、自治会と情報共有を図り連携していく。</p> <p>②家庭用生ごみ袋を取り扱うお店にもマッシュバックキャンペーンがあることを周知し、PRしていただけるようお願いしていく。</p> <p>③11月に予定している環境美化運動について、コロナ禍での実施の仕方について検討する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①資源物改修団体登録が頭打ちになっているため新規の団体登録に努める必要がある。また、資源物ステーション設置補助金のPRも併せて実施していきたい。</p> <p>②エコ土曜日が今年度から2か月に1回となったが利用者の方には定着してきている。不法投棄の減少にもつながっていると思われるため継続して実施していきたい。</p>	<p>①自治会長会議や育成会長会議等でPRを実施予定。</p> <p>②エコ土曜日に対応していない物も会場に置いていかれてしまう例があり、お預かりできる物とできない物の更なる周知を図っていききたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①自治会長会議において資源物回収奨励金への取組と品目の追加についてお願いすることができた。早速、品目の追加を検討してくれている自治会もあり、引き続き資源物回収の利点について周知していきたい。</p> <p>②生ごみ処理事業での生ごみ回収量は、コロナ禍の影響もあり全体で約39tの減少となった。町民の方には、生ごみを堆肥化し環境に優しい取り組みをしていることと、生ごみ袋を使うことによって還元される事業があることの周知徹底をしていきたい。</p> <p>③不法投棄抑制のために監視カメラを設置したいが、台数に限りがあるため投棄が多い場所を選んで設置しているのが現状である。今後台数を増やしていけるかが課題である。</p>	

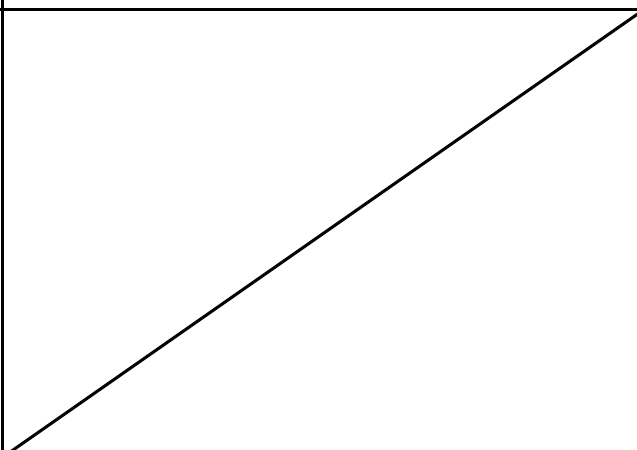
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・ごみの再利用や減量化にこれからも努力されたい。 ・自治会、育成会への積極的な働きかけにより、町民の意識向上をさらに促すよう継続されたい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・5委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・ごみの減量化は、努力はしているが、人口減・ごみの増とちよつと変な具合のため、いろいろと研究し、成果が表れるよう努力されたい。 ・コロナ禍でのデータとなり、今までの取組成果と比較しにくい が、ごみのリサイクル率の向上について、さらに努力されたい。 ・今後も町民のごみに対する意識向上にさらなる取組が必要である。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	78.6歳
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	81.4歳
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	30.0%	現状値	16.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①【健幸ポイント】 0名 ②新型コロナウイルス感染症対策により、各事業の実施を中止および延期とした。 ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	5月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。		①【健幸ポイント】 0名 ②新型コロナウイルス感染症対策により、各事業の実施を中止および延期とした。 ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	6月			①【健幸ポイント】 6名 ②新型コロナウイルス感染症対策により、各事業の実施を中止および延期とした。健康デーにおいては、7月より再開を予定。田野・益子・七井と3地区で対象者を振り分け、『密』を避ける対策を講じる予定。日時については、ましこお知らせ版にて周知。 ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	7月			①【健幸ポイント】新規加入者：4名 ②健康デー 39名（新規0名） ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	8月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。		①【健幸ポイント】新規加入者：3名 ②健康デー 31名（新規0名） ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	9月			①【健幸ポイント】新規加入者：4名 ②健康デー 31名（新規0名） ③⑤リンパマッサージ教室を実施（参加者：14名） 保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	10月			①【健幸ポイント】新規加入者：5名 ②健康デー 61名（新規1名） ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	11月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。		①【健幸ポイント】新規加入者：2名 ②健康デー 55名（新規9名） ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	12月			①【健幸ポイント】新規加入者：5名 ②健康デー 55名（新規0名） ③保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	1月			①【健幸ポイント】新規加入者：3名 ②健康デー 45名 ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	2月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。		①【健幸ポイント】新規加入者：0名 ②健康デー 51名 ③⑤保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	
	3月			①【健幸ポイント】新規加入者：1名 ②健康デー 61名 ③保健センター及び各施設にて、リーフレットの掲載をしウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>第1四半期については、コロナウイルス感染症の影響があり、各事業を中止となった。今後、住民が健康を維持増進できる機会を作る為、感染症予防の対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	<p>コロナ感染症だからできないでなく、開催するための対策を講じていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>新しい生活様式を踏まえ、各事業を開始となっている。今後も、住民が健康を維持増進できる機会を作る為、感染症予防の対策をし安全に事業を実施していく。</p>	<p>コロナ感染症だからできないでなく、開催するための対策を講じていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>新しい生活様式を踏まえ、各事業を開始となっている。今後も、住民が健康を維持増進できる機会を作る為、感染症予防の対策をし安全に事業を実施していく。</p>	<p>コロナ感染症だからできないでなく、開催するための対策を講じていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>新しい生活様式を踏まえ、各事業を開始となっている。今後も、住民が健康を維持増進できる機会を作る為、感染症予防の対策をし安全に事業を実施していく。</p>	

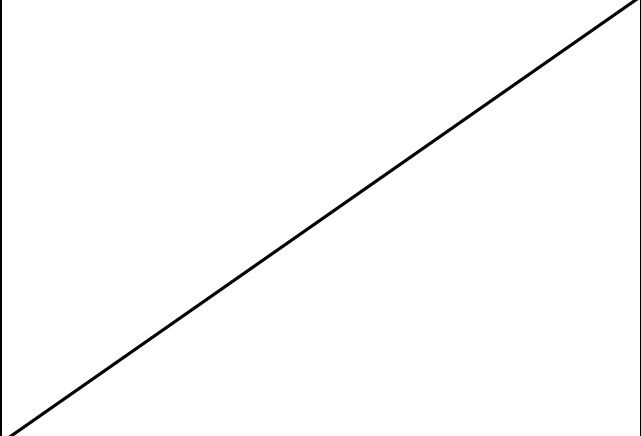
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	新しい生活様式を踏まえた、事業実施の見直しし、取り組みます。
	第2四半期	②意見・提言 ・健康づくりをこれからも続けていっていただきたい。 ・コロナ禍で事業の継続が難しい状況の中ではあるが、感染予防、新しい生活様式を取り入れつつ継続して行っていただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・4委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・「健康デー」は、コロナ感染症対策として、参加者には益子、七井、田野地区で、地区別、時間を設定して実施している。コロナ禍の中、町民を取り残さない考えは、とても良いと思う。 ・コロナ禍により、会議、行事等の中止・縮小のため、なかなか成果が見えず大変だが、事業の継続を願っている。 ・各教室等の開催に向けて、前進していただきたい。 ・新しい生活様式を取り入れた健康維持増進のための取組を期待する。	

		課局名	高齢者支援課				
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		政策	健康・長寿ましこづくりの推進			
施策	運動を通じた健康づくりの推進		進捗状況	100%			
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	78.6歳		
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	81.4歳		
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	30.0%	現状値	16.4%		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月						
	5月					①健幸ポイント周知	
	6月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	7月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	8月					①健幸ポイント周知	①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明
	9月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	10月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	11月					①健幸ポイント周知	①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明
	12月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	1月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	
	2月					①健幸ポイント周知	①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明
	3月					①予防教室等において健幸ポイントを周知・説明	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	

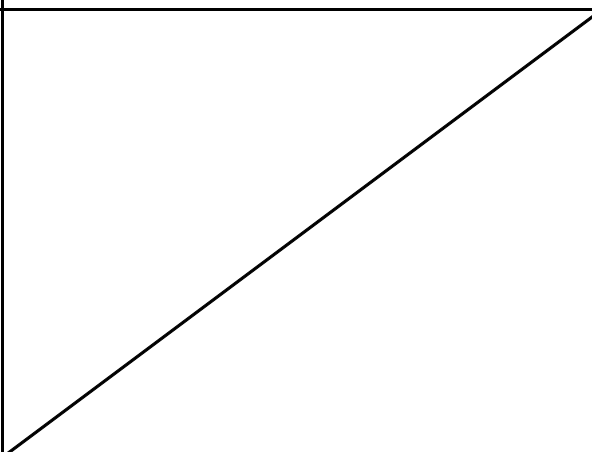
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。
	第2 四半期	②意見・提言 ・健康づくりをこれからも続けていっていただきたい。 ・健幸ポイントの周知により運動習慣者の増加に期待したい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・4委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・コロナ禍によりあまり成果が見えないが、今後の目標に向かって努力されたい。 ・予防教室以外の高齢者へのアプローチも探ってみる必要があるのではないか。 ・要望教室を利用していない高齢者への周知も必要なのではないか。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せ感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	78.6歳
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	81.4歳
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	30.0%	現状値	16.4%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	④ましこチャレンジクラブ（総合型スポーツクラブ）の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援	④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(4/26)現在加入者251名 クラブ活動において新型コロナウイルス対策を検討した。 ④4月上旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	5月		④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(5/23)現在加入者253名 ④クラブ総会は新型コロナ関連で中止となり書面決議となったため、資料にて事業報告や計画、予算等についてクラブ運営等の確認した。		
	6月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(6/16)現在加入者296名 クラブマネージャー変更について後任の選任議決。 ④6月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	7月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(7/14)現在加入者350名 新型コロナウイルスの影響における自粛から教室の再開について状況確認をした。 ④7月上旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	8月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(8/18)現在加入者377名 新型コロナウイルスの第2波、及び熱中症の対応等について検討 ④8月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	9月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(9/8)現在加入者386名 toto助成金が切れた後の対応について検討 ④9月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	10月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(10/13)現在加入者409名 とちぎ国体デモンストレーションスポーツ（ウォーキング）実施要綱確認。 ④10月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	11月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(11/10)現在加入者427名 令和3年度スポーツ振興くじ助成事業について協議した。 ④11月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	12月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(12/8)現在加入者434名 とちぎ国体デモンストレーションスポーツ（ウォーキング）や来期の新規教室、役員改選について協議した。 ④12月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	1月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(1/19)現在加入者436名 今後の町からの支援について検討。 ④1月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	2月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(2/13)現在加入者436名 R3年度事業計画について検討。 ④2月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	3月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(3/9)現在加入者436名 R3年度現在加入者78名 町への要望、コロナ自粛からの再開現状について検討。 ④3月上下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。上半期では裏面全面を使用して掲載することができた。		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。クラブ事務局員が7月から変更になるため、運営がスムーズに進むよう事務的な支援を随時行う必要がある。6/16時点で296名の加入であり、前年度の6月(510名)と比べて、減少傾向にある。新型コロナ関連により活動の自粛があったため、会員数が増えない状況。現在、クラブ活動が再開したので、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動を進める必要である。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。7月からクラブマネージャーが変更になるので、スムーズにクラブ運営が実施できるよう支援する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。クラブ事務局員が7月から変更になるため、運営がスムーズに進むよう事務的な支援を随時行う必要がある。9/8時点で386名の加入であり、前年度の9月(527名)と比べて、減少傾向にある。新型コロナ関連により活動の自粛があったため、会員数が増えない状況。現在、クラブ活動が再開したので、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動を進める必要である。Toto助成金が切れた後のクラブ運営方法及び町からの支援について、更に検討を進める必要がある。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。12/8時点で434名の加入であり、前年度の12月(580名)と比べて、減少傾向にある。新型コロナ関連により活動の自粛があったため、会員数が増えない状況。現在、クラブ活動が再開しているので、継続及び新規加入者の確保のため、広報活動を継続して進める必要がある。Toto助成金が切れた後のクラブ運営方法及び町からの支援について、引き続き検討を進める必要がある。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。引き続き、Toto助成金が切れた後のクラブ運営方法及び町からの支援について、検討を進めていきたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。3/9時点で436名の加入であり、前年度の3月(586名)と比べて、減少傾向にある。新型コロナ関連により活動の自粛があったため、会員数が増えない状況であった。現在、クラブ活動が再開しているので、令和3年度の新規加入者を確保するため、広報活動を継続して進める必要がある。Toto助成金が切れた後のクラブ運営方法及び町からの支援について、引き続き検討を進める必要がある。</p>	

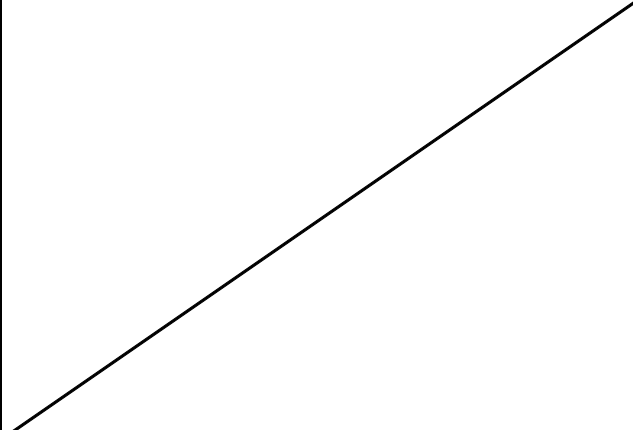
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、引き続き年間計画に基づき事業を進めていく。
	第2 四半期	②意見・提言 ・私が参加しているチャレンジクラブもコロナ禍により再開の目途が立たず、とても残念に思っている。 ・健康づくりをこれからも続けていっていただきたい。 ・コロナ禍ではあるが、運動習慣による健康づくりは必要であるため、今後も継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・4委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・コロナ禍による各種計画の中止等により成果は見えないが、今後の努力に期待したい。 ・自宅でもできる運動なども紹介し、ジムが使えなくても運動に取り組めるような発信をしてはどうか。 ・チャレンジクラブ参加者が増加するような取組を期待する。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食を通した健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.0%	現状値	21.4%
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.0%	現状値	11.0%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により体組成計測定と集団講話は中止。個別栄養相談・保健指導のみ実施（3名）。		
	5月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するため実施した「食に関する調査」結果について公表・周知。 ②「健康レシピ」の実施方法等について検討。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。①③病態別教室「テーマ：糖尿病」を6月に実施するため5月に対象者への通知を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で時期を延期。		
	6月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により体組成計測定と集団講話は中止。個別栄養相談・保健指導のみ実施（4名）。①「食に関する調査」結果について、広報ましこに掲載し周知した。		
	7月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを再開。新型コロナウイルス感染症の影響により体組成計測定と集団講話は中止。個別栄養相談・保健指導（3名）のみ実施。		
	8月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するため実施した「食に関する調査」結果について公表・周知。 ②「健康レシピ」の実施方法等について検討。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により集団講話は中止。体組成計測定、個別栄養相談・保健指導（1名）実施。		
	9月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを計画。新型コロナウイルス感染症の影響により集団講話は中止したが、減塩と適正体重について普及啓発のため、資料を配布。体組成計測定、個別栄養相談・保健指導（2名）実施。		
	10月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。新型コロナウイルス感染症の影響により集団講話は中止したが、減塩と適正体重について普及啓発のため、資料を配布、味覚チェックとみそ汁の塩分濃度測定を実施。個別栄養相談・保健指導（6名）実施。		
	11月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するため実施した「食に関する調査」結果について公表・周知。 ②「健康レシピ」の実施方法等について検討。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。個別栄養相談・保健指導（9名）実施。		
	12月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。個別栄養相談・保健指導（6名）実施。		
	1月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。個別栄養相談・保健指導（6名）実施。		
	2月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するため実施した「食に関する調査」結果について公表・周知。 ②「健康レシピ」の実施方法等について検討。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。個別栄養相談・保健指導（7名）実施。		
	3月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを実施。個別栄養相談・保健指導（5名）実施。		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>第1四半期については、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業が一部中止・延期となった。今後も、感染症予防対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	<p>今後も、感染症予防対策を踏まえたうえで、実施できる内容を検討していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業が一部中止・延期していたが、一部再開となった。今後も、感染症予防対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	<p>今後も、感染症予防対策を踏まえたうえで、実施できる内容を検討していく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業が一部中止・延期していたが、一部再開となった。今後も、感染症予防対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	<p>今後も、感染症予防対策を踏まえたうえで、実施できる内容を検討していく。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業が一部中止・延期していたが、一部再開となった。今後も、感染症予防対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	

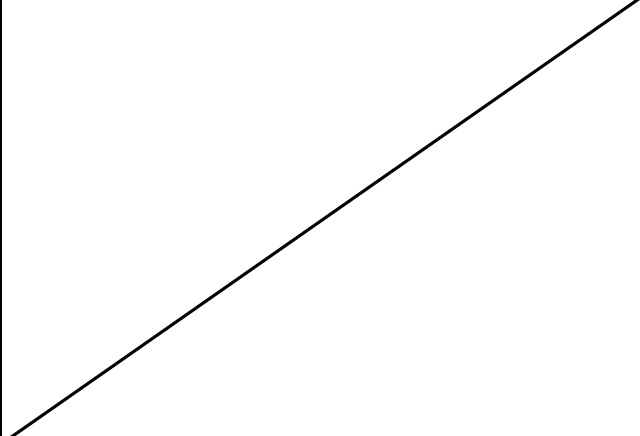
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	コロナ禍でも安全に実施できる方法を模索しながら、住民の健康意識の向上が図れるよう事業を行う。 広報誌やその他の情報発信媒体を最大限に活用してまいります。
	第2 四半期	②意見・提言 ・内容によっては、オンラインの活用を検討してはどうか。 ・ここでもコロナの影響が出ているが、今後もより一層推進されたい。 ・コロナ禍で実施できる事業も限られるだろうが、食事を通した健康に対する町民の意識の向上のため、継続すべき。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・0委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・4委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・1委員	
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・実施内容を見て、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じてても集団の病態教室は難しいと感じる。パーテーションを設置しての個別指導を続けて実施されたい。 ・食事等健康関係の行事・事業がコロナ禍により中止となってしまったが、今後も努力して継続されたい。 ・感染症予防対策を踏まえた事業の検討を進めていただきたい。 ・健康に対する町民の意識づけができる取組を期待したい。 ・コロナ禍で生活様式も大きく変化している。その点も反映させた計画の見直しが必要。	

		課局名	農政課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食事を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.0%	現状値	21.4%
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.0%	現状値	11.0%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③施設運営者となる(株)ましこカンパニーと指定管理者制度に基づく施設の管理運営協定を締結した。コロナの影響でGW期間中は営業を休止したが、施設運営者がドライブスルー・宅配・貨客混載により野菜の販売を行った。	
	5月	③道の駅の施設運営者と業務仕様及び協定書に基づき、施設の管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。		③コロナの影響でGW期間中は営業を休止したが、施設運営者がドライブスルー・宅配・貨客混載により野菜の販売を行った。	
	6月			③施設運営者が野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。オンラインでの野菜販売の価格の改定を実施した。サラダフェアを実施した。	
	7月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	8月	③道の駅の施設運営者と業務仕様及び協定書に基づき、施設の管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。		③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	9月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	10月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	11月	③道の駅の施設運営者と業務仕様及び協定書に基づき、施設の管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。		③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	12月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	1月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	2月	③道の駅の施設運営者と業務仕様及び協定書に基づき、施設の管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。		③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	
	3月			③施設運営者が地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行った。野菜売り場にて野菜のレシピを置いて販売促進を図った。	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③地域おこし協力隊が野菜のレシピを考案し店頭に置くことにより、野菜の売れ残りが減少した。顧客のニーズに合った気軽に作れるレシピを開発することが必要である。</p>	<p>③食に関する情報発信や農産品の提供については適切に実施されているが、より充実した情報提供等を行うよう適宜指導していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③地域おこし協力隊が野菜の栄養面を記載したレシピを野菜売り場に置くことは、町民の健康づくりの意識を高めるきっかけとして有効である。</p>	<p>③食に関する情報発信や農産品の提供については適切に実施されているが、より充実した情報提供等を行うよう適宜指導していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③地域おこし協力隊が野菜の栄養面を記載したレシピを野菜売り場に置くことは、町民の健康づくりの意識を高めるきっかけとして有効である。</p>	<p>③食に関する情報発信や農産品の提供については適切に実施されているが、より充実した情報提供等を行うよう適宜指導していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③地域おこし協力隊が野菜の栄養面を記載したレシピを野菜売り場に置くことは、町民の健康づくりの意識を高めるきっかけとして有効である。</p>	

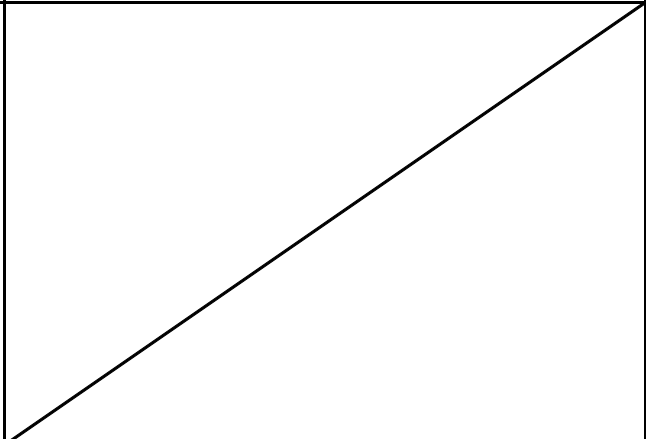
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・地域おこし協力隊による野菜のレシピの情報発信は、野菜の消費を増やし、健康づくりの意識向上につながる取組である。町内外の消費者に喜ばれていると思われるため、継続すべき。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A:目標を達成・・・0委員 B:目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C:成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D:成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・道の駅からの情報発信はますますだと思ふ。引き続き有効利用されたい。 ・町民の健康意識向上のため、多方面からの働きかけが必要である。	

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	290人	現状値	171人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月			③デマンド運行（R1利用実績 1,216人） 870人	
	5月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務		③デマンド運行（利用実績R1 1,202人） 854人	
	6月			③地域公共交通会議（第1回会議）をコロナウイルス感染拡大防止のため書面による開催とした。R1決算報告及び生活交通確保維持改善計画について審議した。 ③デマンド運行（利用実績R1 1,398人） 1,157 ※第1四半期における対前年比 935人減	
	7月			③デマンド運行（利用実績1,463人） 1,183人	
	8月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務		③デマンド運行（利用実績1,415人） 1,151人	
	9月			③デマンド運行（利用実績1,363人） 1,148人 *上半期実績 6,363人（前年度比 1,694人減）	
	10月			③デマンド運行（利用実績1,233人）	
	11月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務		③デマンド運行（利用実績1,096人）	
	12月			③デマンド運行（利用実績1,120人） 利用累計 2年12月累計 9,812人 （前年同期比 2,309人の減） 登録者数は3,450人（前年同期比117人の増）	
	1月			③地域公共交通会議（第2回会議・書面決議）を実施 ③デマンド運行（利用実績 868人）	
	2月	デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務		③デマンド運行（利用実績 1,005人）	
	3月			③地域公共交通会議（第3回会議・書面決議）を実施 ③デマンド運行（利用実績 1,203人） 令和2年度利用者実績 12,888人（前年比2,565人減） 登録者数は3,472人（前年度比107人の増）	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③第1四半期におけるデマンドタクシーの利用実績は、コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛のためか、昨年同期と比較して24.5%の減となってしまった。ただ、4月、5月から比較すると、6月は若干ではあるが利用増の傾向となっている。</p>	<p>現時点においては、コロナウイルス禍により例年のような右肩上がりの利用者増は見込めない状況ではあるが、運行時における消毒などの感染防止対策を徹底するなど、安心して利用できる環境づくりを進めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③デマンドタクシーの利用状況については、高齢者の足として右肩上がりで利用者が増加していた。しかし今冬からのコロナ禍により利用者は大幅に落ち込んだ。コロナ禍が治まるまで今後の利用は低迷するものと思われる。</p>	<p>現時点においては、コロナウイルス禍により例年のような右肩上がりの利用者増は見込めない状況ではあるが、運行時における消毒などの感染防止対策を徹底するなど、安心して利用できる環境づくりを進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③第2四半期同様、コロナ禍により昨年と比して利用者減少が続いている。コロナ禍が収束するまで今後の利用は低迷するものと思われる。その一方、登録者は増加しているため潜在的な需要はあると判断している。</p>	<p>コロナウイルス禍という社会的事象のため、例年のような右肩上がりの利用者増は見込めない状況ではあるが、引き続き運行時における窓開け、待機時の消毒などの感染防止対策を徹底し、交通弱者のための公共交通として運行を継続していきたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③今年度はコロナ禍の影響により、初めて利用者が前年度比で減少した。この傾向は高齢者利用者が多いため、コロナ禍が沈静化するまで安定しないと考える。しかしながら、デマンドタクシーは高齢者をはじめ交通弱者の移動手段として欠かすことのできない公共交通機関であることから、コロナ対策を十分行いながら利用者の安全を図っていく。</p>	

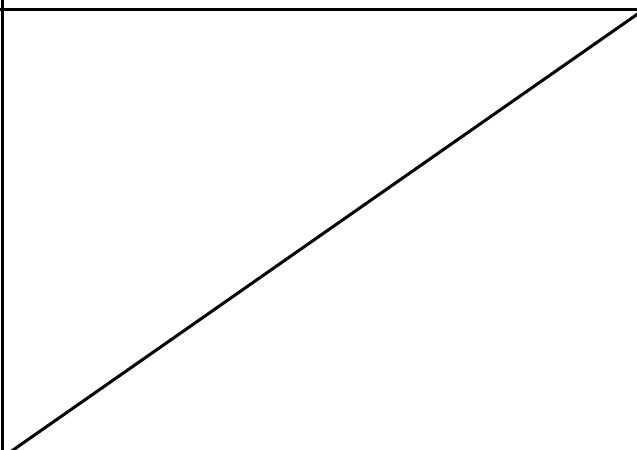
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・今後も高齢者が増加する傾向にあるので、これからもより一層取組を進めていただきたい。 ・利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルスの感染防止に努めていただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・3委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・交通弱者のために今後も継続をお願いしたい。	/
	総括（第4四半期も含む）	・コロナ禍で外出を抑える要請があったため、前年・目標値より減となるのは仕方がない。 ・コロナ禍のため利用者も減っていると思う。住民（高齢者）の足となる運行の継続を望む。 ・デマンドの利用減はコロナの影響と思われるが、今後の高齢化社会のため、取組は継続されたい。 ・交通弱者の移動手手段として必要不可欠な事業であるので、町民にとって利用しやすいような運営を期待する。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	290人	現状値	171人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	4/6ふれあいサロン推進事業補助金交付（星の宮・ましこの里） 4/21ふれあいサロン推進事業補助金交付（新町・アップル・あぐり） 4/27ふれあいサロン推進事業補助金交付（いちご） 4/1星の宮サロン3周年記念行事 4/14新町サロン総会 コロナウイルス感染防止のため教室・サロンを休止		
	5月		コロナウイルス感染防止のため教室・サロンを休止 介護予防教室会員へ自宅で実施できる運動等の課題の送付		
	6月		コロナウイルス感染防止のため教室・サロンを休止 教室・サロン再開にむけて、実施方法の検討と消毒薬を配布 6/5より介護予防教室・星の宮サロン再開		
	7月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	新町・あぐりサロン再開 再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導		
	8月		再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導		
	9月		再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導 休止中のサロン再開にむけて、実施方法の検討と消毒薬を配布 9/2健康講話（星の宮サロン）		
	10月		再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導 アップルサロン再開		
	11月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導		
	12月		活動内容の確認。感染予防対策の指導		
	1月		コロナウイルス感染防止のため教室・サロンを休止		
	2月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	活動内容の確認。感染予防対策の指導 2/24星の宮サロン健康相談		
	3月		3/11アップルサロン健康相談 再開している教室・サロンの感染症予防対策の確認・指導		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>6月末サロン・教室参加実人数94名（うちサロン14名、介護予防教室63名、自主教室17名） コロナウィルス感染防止のため実施日が少なく、また再開しても感染予防のため外出を控えている参加者が多くみられた。自宅内で引き籠ることで身体機能が低下する恐れがあるため、自宅を実施できる課題を送付した。</p>	<p>コロナウィルス感染防止ができ安心して参加できるよう、実施内容や方法を定期的確認する。またサロンについては、会場の状況で再開できないサロンもあるため、今後の状況をみて適時相談にのっていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>9月末サロン・教室参加実人数164名（うちサロン50名、介護予防教室67名、自主教室47） 再開してもコロナウィルス感染予防のため参加を見合わせている利用者も見られるが、少しずつ参加者数は増加している。サロンについては会場の状況で再開できないサロンもあるため近くのサロンへ参加できるよう調整をおこなった。</p>	<p>コロナウィルス感染に関して過敏になっている高齢者も見られるため安心して参加できるよう会場の予防対策や正しい知識の普及に努めていきたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>12月末サロン・教室参加実人数171名（うちサロン65名、介護予防教室56名、自主教室50名） コロナウィルスの感染予防対策が可能なサロンは活動を再開している。自主団体については、活動を休止しているところが多い。サロンによっては感染予防対策が徹底されていないところも見受けられたため、チラシを配布し、再度予防対策について確認をしてもらった。</p>	<p>コロナウィルスと共に過ごす生活に慣れてしまい、感染予防を十分にされない方も見られるため、誰もが不安なく安全に参加できるように、感染予防対策を実施し、実施内容・方法の確認もおこなっていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>3月末サロン・教室参加実人数171名（うちサロン65名、介護予防教室56名、自主教室50名） 1月～2月中旬まではすべての教室・サロンが休止したが、感染予防対策が可能な会場は活動を再開している。自主団体については、引き続き活動を休止しているところが多い。コロナウィルス感染予防のため会場の確認や消毒液の配布をおこなった。</p>	

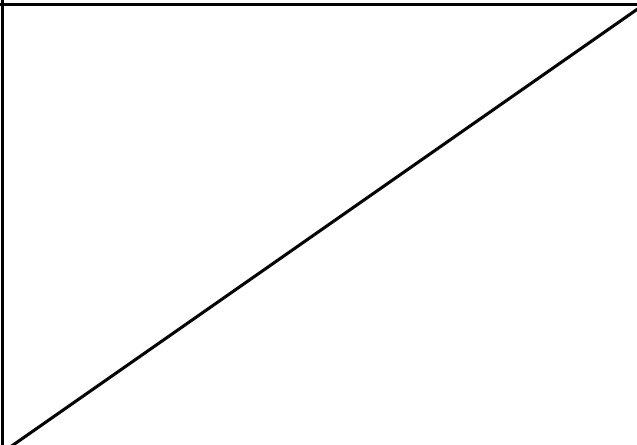
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	コロナウィルス感染予防について、今後も知識の普及をするとともに、安全に通える場となるよう、随時、実施内容や会場の確認をおこなっていきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を、教室で注意喚起させることがとても大事だと思われる。 ・今後も高齢者が増加する傾向にあるので、これからもより一層取組を進めていただきたい。 ・高齢者が生きがいを感じられるようなふれあいサロンに期待したい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	/
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・ふれあいサロンの再開等により高齢者の場が確保されているが、コロナの再発により今後が心配される。十分に気を配って今後も継続されたい。 ・ふれあいサロンは新型コロナウイルス感染防止のため、減少しているのは仕方がない。 ・各地域でいきいきと活動できるサロン支援に期待する。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	50%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	290人	現状値	171人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月				
	5月	⑤七井小：全校生が高齢者とのふれあい除草活動。 ⑤七井小：5年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤七井中：1年生が益子支援学校との交流活動。 ⑤各小中学校：総合的な学習の時間に、高齢者福祉や障害者福祉について体験活動。			
	6月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。(各校ごとに6月随時)		
	7月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	8月	⑤田野小・益子小：運動会で高齢者を招き、ふれあい種目を共同。 ⑤益子中：運動会で高齢者介護施設入居者を招待し、接待や介助協力。 ⑤田野中・益子中・七井中：中学生の町ボランティアスクールへの参加体験の周知。 ⑤益子西小：総合的な学習の時間で、友愛作業所・高齢者教室との交流活動。	⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	9月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	10月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	11月	⑤田野小：総合的な学習で、高齢者にワークショップ形式の講話。 ⑤益子小：低学年の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習。 ⑤七井小：3年生が特別支援学校の見学の実施。4年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤益子中：2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動での介護体験活動。 ⑤田野中・七井中学校2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動事業で、高齢者との交流活動。	⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	12月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	1月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	2月	⑤田野小・益子西小：1年生の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習の実施。 ⑤七井小：1年生の生活科で、交流活動。	⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		
	3月		⑤各小中学校：総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げ授業を行った。		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、交流学习や体験学習については実施することができなかった。</p>	<p>交流学习が中止または未定の学校が多いため、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する中で効果的な学習が行えるよう、支援する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、交流学习や体験学習については実施することができなかった。</p>	<p>交流学习が中止または未定の学校が多いため、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する中で効果的な学習が行えるよう、支援する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、交流学习や体験学習については実施することができなかった。</p>	<p>交流学习が中止または未定の学校が多いため、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する中で効果的な学習が行えるよう、支援する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、交流学习、体験については実施することができなかった。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
第1 四 半 期		委員の検証及び意見・提言	
		<p>①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし</p> <p>②意見・提言 ・コロナ禍の中、すべての取組が難しいが、再開できる状態になった後に期待したい。 ・高齢者や障がい者に対する児童、生徒の理解を深めるため、継続が必要である。</p>	
第2 四 半 期			
第3 四 半 期	総 括 （ 下 半 期 も 含 む ）	<p>①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員</p> <p>②意見・提言 ・コロナとの戦いだが、根気よく続けていただきたい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防のため交流事業ができなかったが、総合の時間で学習する努力が見えた。</p> <p>・コロナ禍のため実施困難になり、とても残念に思う。</p> <p>・児童に向けて高齢者、障害者への理解を深めるような取組は今後必要である。</p>	
		<p>総 括 （ 第 4 四 半 期 も 含 む ）</p>	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	290人	現状値	171人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月		開催計画の作成		
	5月	④高齢者講師の暮らしに役立つ講座 年間講座のプランニング作成 講座の開催	開催計画の作成		
	6月		-		
	7月		-		
	8月	④講座の実施	-		
	9月		9/9益子地区高齢者学級（講話：認知症予防について）11人 9/18七井地区シルバーいきいき講座（講話：高齢者の交通安全、 防災について）29人		
	10月		10/15七井地区シルバーいきいき講座（視察研修：足利市）10人 10/18田野地区高齢者学級（マイ箸づくり）13人 10/21益子地区高齢者学級（視察研修：益子町の文化財）10人		
	11月	④講座の実施	11/20七井地区シルバーいきいき講座（グランドゴルフ）17人 11/22田野地区高齢者学級（レクリエーション：輪投げ）21人 11/25益子地区高齢者学級（手びねり陶芸、木工クラブト）8人		
	12月		12/18七井地区シルバーいきいき講座（講話：目で見ると感じる悪徳商法） 23人 12/11益子地区高齢者学級（視察研修：益子めぐり）7人		
	1月		-		
	2月	未実施	-		
	3月		-		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>高齢者の生きがいにもなることから、継続して進める。</p>	<p>広報お知らせ版やホームページ等で幅広く周知していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で開講式が遅れたが、多く参加があった。</p>	<p>魅力ある講座を開催する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の中での開催ではあったが、多く参加があった。</p>	<p>魅力ある講座を開催する。</p>
<p>第4 四半期</p>		

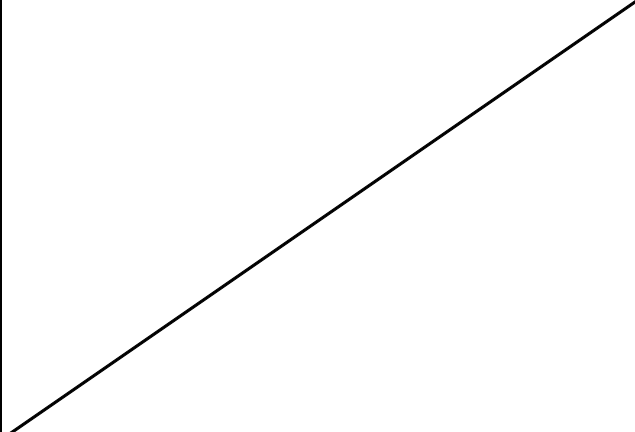
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・コロナ禍でも参加者が多かったことから、継続し、生きがいを推進していただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	/
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・コロナとの戦いだが、根気よく続けていただきたい。 ・コロナ禍でも多くの参加者があったようだ。家にいる時間が増えたことも、講座に参加するきっかけとなったのではないかと。 ・高齢者がいきいきと活動できる支援を期待する。	

		課局名	総務課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	45件	現状値	98件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	15件	現状値	25件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②特殊詐欺注意喚起メール 1回 青色防犯パトロール実施 ④免許返納 4人		
	5月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③警戒レベルチラシの配布 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 ④免許返納 1人		
	6月		②青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 ③栃木県作成 警戒レベルチラシ 全戸配布 ④交通安全教室 高齢者 1回 15人、学生 12回 207人 免許返納 1人		
	7月		②防犯灯設置 43基（蛍光灯→LED：11、新規32） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺注意喚起メール 1回 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 ④交通安全教室 学生 12回 317人 免許返納 4人		
	8月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③防災訓練の実施 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②防犯灯設置 7基（蛍光灯→LED：7） 青色防犯パトロール実施 ③防災訓練の実施 防災講習会実施（上大羽） ④交通安全教室 学生 4回 225人 免許返納 3人		
	9月		②防犯灯設置 3基（蛍光灯→LED：2、新規1） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 8件 ④交通安全教室 高齢者 1回 10人、学生 5回 314人 免許返納 6人		
	10月		②防犯灯設置 5基（蛍光灯→LED：5） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 ④交通安全教室 学生 8回 609人 免許返納 5人		
	11月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②防犯灯設置 10基（蛍光灯→LED：9、新規1） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ④交通安全教室 高齢者 1回 30人、学生 7回 551人 免許返納 4人		
	12月		②防犯灯設置 8基（蛍光灯→LED：7、新規1） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ④交通安全教室 学生 6回 466人 免許返納 5人		
	1月		②防犯灯設置 5基（蛍光灯→LED：4、新規1） 青色防犯パトロール実施 ④交通安全教室 学生 6回 543人 免許返納 5人		
	2月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②防犯灯設置 4基（蛍光灯→LED：3、新規1） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 特殊詐欺注意喚起メール 1回 ④交通安全教室 学生 5回 257人 免許返納 6人		
	3月		②防犯灯設置 4基（蛍光灯→LED：3、新規1） 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ④交通安全教室 学生 6回 199人 免許返納 3人		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考えている。</p> <p>④交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、件数は少なめになっている。</p> <p>刑法犯の発生件数は40件（5月末）対前年比 増10件となっている。交通事故発生件数は、11件（5月末）対前年比 増4件となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺については、随時注意喚起を行い、被害防止に努める。 ・交通事故発生を抑制するため、警察と協力し交通安全を呼びかける。
	<p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考えている。</p> <p>④交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。コロナウイルスの影響により、昨年度に比べ人数は少なめになっている。</p> <p>刑法犯の発生件数は54件（8月末）対前年比 増8件となっている。交通事故発生件数は、17件（8月末）対前年比 増7件となっている。</p> <p>7月に死亡事故（バイクの単独事故）が1件発生してしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺については、随時注意喚起を行い、被害防止に努める。 ・交通事故発生を抑制するため、警察と協力し交通安全を呼びかける。
<p>第3四半期</p>	<p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考えている。</p> <p>④交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。</p> <p>刑法犯の発生件数は95件（11月末）対前年比 増32件となっている。交通事故発生件数は、20件（11月末）対前年比 増4件となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺については、随時注意喚起を行い、被害防止に努める。 ・交通事故発生を抑制するため、交通安全教室を随時行うことや、警察と協力し交通安全を呼びかける。
<p>第4四半期</p>	<p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考えている。</p> <p>特殊詐欺対策電話機購入補助については、28件の助成となった。昨年度12月中旬の開始で、昨年は7件だったので、件数的には横ばいとなっている。</p> <p>④交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。今年度はコロナウイルスの影響により、昨年度に比べ件数、人数ともに少なめになっている。</p> <p>刑法犯の発生件数は98件（12月末）対前年比 増32件となっている。交通事故発生件数は、25件（12月末）対前年比 増4件となっている。</p> <p>運転免許自主返納については47件で、昨年度より減少している。交通インフラの整備が促進することで返納も増加すると考えられる。</p>	

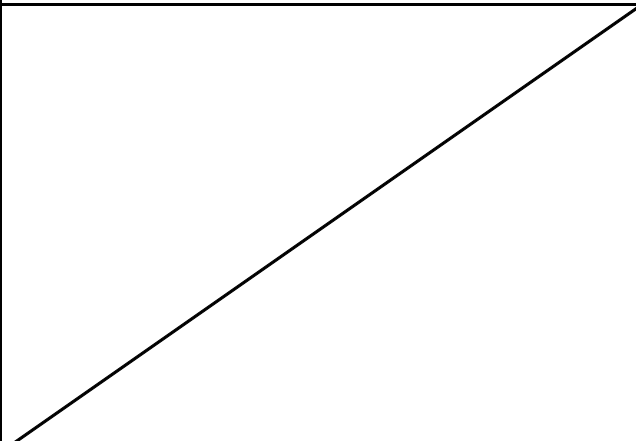
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言] ・防犯や交通安全の取組は、今後もさらなる努力をお願いしたい。 ・防犯パトロールや交通安全教室は、継続していくことで効果が得られると思われる。	交通事故・防犯関係については、随時啓発を行っていく。 また防犯パトロール、交通安全教室により、特に子どもたちと高齢者の安全を確保するため、各課・関係機関と連携し実施していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・3委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・防犯・交通等増加傾向にあるが、今後とも対策に努力されたい。 ・刑法犯・交通事故ともに増えていることに不安を感じる。 ・効果的に成果が上がる取組を期待する。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	45件	現状値	98件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	15件	現状値	25件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		特になし		
	5月	②民生委員児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	特別定額給付金に関するお知らせの配布依頼		
	6月		定例会時に避難行動要支援者名簿に関する行動の共通理解を図った		
	7月		特になし		
	8月	②民生委員児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	防災訓練実施（民生委員の参加は任意）		
	9月		定例会時に新型コロナウイルス対策として、マスク、消毒液、スプレーボトル、除菌シート（社協）を配布した。		
	10月		特になし		
	11月	②民生委員児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	定例会時に新型コロナウイルス対策として再度マスク配布。		
	12月		特になし		
	1月		特になし		
	2月	②民生委員児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	2/13の地震で安否確認実施（一部の民生委員）		
	3月		定例会で高齢者名簿及び必要支援者名簿配布。		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルスの関係で、定例会の開催も難しい状況だった。意見交換、情報交換にも十分な時間がとれなかった。</p>	<p>②9月定例会の開催方法を検討するとともに、調査、見守りについても担当課と協議したい。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルス対策として、定例会を2回に分けて開催した。入れ替えもあるため、意見交換、情報交換は十分できなかった。調査について例年どおり依頼するにあたり、感染症対策物資を配布した。</p>	<p>②11月定例会の開催方法を検討するとともに、調査、見守りについても担当課と協議したい。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②定例会の実施を1回に戻し、短時間で済ませた。十分な意見交換はできなかった。</p>	<p>②3月の定例会は再度分散を検討したい。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②要支援者名簿の配布時期について、自治会長と民生委員同時期がよいとの意見があった。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	・今年は例年行っている事業や研修が実施できないため新任の民生委員
	第2 四半期	②意見・提言 ・民生委員の仕事に対する理解をより進めていただきたい。 ・災害時などの緊急事態に備えて、自治会と民生委員・児童委員との連携は重要だと思われる。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 ・コロナ禍等により十二分の意見交換はできないが、今後の活躍に期待したい。 ・コロナ禍で家にいる時が多い今だからこそ、民生委員の役割が重要となるのではないかと思う。 ・地域の民生委員との連携を強化し、安全・安心な町づくりを今後も進めていただきたい。	

		課局名	建設課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		政策	地域の安全・安心体制の強化	
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実		進捗状況	100%	
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	45件	現状値	98件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	15件	現状値	25件
KPI		本年度目標値			
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		④補助金交付申請ヒアリング(4/14)・町道18号七井・大平線用地測量 現地立会		
	5月	④通学路の危険個所を点検・整備し交通事故の防止に努める。	④町道18号七井・大平線用地立会い(5/22、5/26)		
	6月		④補助金交付申請ヒアリング(6/3)・町道18号七井・大平線用地測量関 係業務完了		
	7月				
	8月	④通学路の危険個所を点検・整備し交通事故の防止に努める。	④「とちぎの道点検」を書面で行った。		
	9月		①②下大羽益子線の土木事務との打ち合わせ。9/2 町道18号の不動産鑑定を行った		
	10月		④県道下大羽益子線法線説明会出席 10/1 町道18号線税務署事前協議提出 10/29		
	11月	④通学路の危険個所を点検・整備し交通事故の防止に努める。	④町道18号地権者訪問 通学路完全対策プログラム協議会会議(11/30)		
	12月		④進行計画ヒアリング 町道18号地権者訪問(12/4、18)		
	1月		④町道18号地権者訪問(1/21、1/26)		
	2月	④通学路の危険個所を点検・整備し交通事故の防止に努める。	④町道18号補償者契約(2/28) 生活道路対策エリア整備事業計画関係で県との現場検証(2/2)		
	3月		④町道18号用地・補償者契約(3/2) 県道下大羽益子線県との事業関係打ち合わせ(3/18、24) 生活道路対策エリア整備事業計画に関する打合せ(3/8)		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④町道18号七井・大平線用地測量現地立会をし、用地、補償業務を完了した。県土整備委員会については、コロナの関係により町は参加せず、真岡土木事務でおこなわれた。県道下大羽益子線について要望を行った。</p>	<p>④町道18号七井・大平線の用地測量、補償関係業務が完了したので、今後用地交渉や補償交渉を進めていく。・県道下大羽益子線の測量等が進んでいるので、工事に進められるように協力していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④通学路に対する意見をいただいた。本来は関係者が集まって現地を確認するがコロナの関係により書面で行った。町道18号に関しては今後地権者との交渉を行う。</p>	<p>④通学路の危険をよく認識し、歩道の必要な道路等を考えていく。町道18号に関しては今後地権者との交渉を行い次年度の工事に向けて事業を行っていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④町道18号に係る宇都宮税務署への協議申請を行った。県道下大羽益子線の説明会に出席した。町道18号七井大平線の地権者への用地交渉を開始した。交通安全プログラム会議で出た案件の検討する。</p>	<p>④町道18号線の税務署の事前協議が完了後、地権者との交渉に入る。県道下大羽益子線の改良工事に伴う打ち合わせ等を件と行っていく。町道18号の地権者で今年度分の契約書予定者の用地公諸島を行い取得する。交通安全プログラム会議で出た案件の改善等を行っていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④町道4号七井大平線の地権者等への用地・補償交渉を開始した。生活道路対策エリア整備計画において、七井小学校区域について現地での現場検証を行った。また、県道下大羽益子線の件との協議を行い今後の打ち合わせを進めていくこととなった。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・地域の安全安心のため、事業を継続されたい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・2委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・通学路等の点検等は毎年行っているため、今後も継続されたい。 ・引き続き通学路整備を進めていただきたい。 ・千葉県八街市での児童死傷事故もあり、通学路の安全対策を早急に対応していただきたい。 ・町内全域の生活道路の点検整備など、交通安全対策の取組をさらに強化することで、町民の安心感が増すであろう。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	45件	現状値	98件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	15件	現状値	25件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告依頼(4/1) ②各小中学校へ「令和元年度版とちぎの交通事故」「児童の交通事故発生状況について」「スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会資料」を配布(4月随時)	
	5月	②スクールガード・リーダー委嘱状交付 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ホムステイア保険加入処理 ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告 後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ②令和2年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請		②4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/8) ②スクールガードの活動保険加入処理(5/14) ②地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(5/21) ④益子西小学校より通学路危険箇所(倒木恐れ)報告あり、地権者に伐採依頼(5/28)	
	6月			②5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/3) ②各小中学校へ「とちまる防犯講習の開催通知」配布(6/12) ④益子中学校より通学路危険箇所(段差)報告あり、町建設課に工事依頼(6/18)	
	7月			②6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/3) ②各小中学校へ「防犯ポスター及び地域安全マップ募集協力依頼通知」配布(7/3)、「令和2年秋の交通安全県民総ぐるみ運動の実施通知」配布(7/9) ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会実施(7/20)	
	8月	②スクールガード・装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼		②7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/4) ②各中学校へ「とちぎ性暴力サポートセンターのカード」配布(8/17) ②各小中学校へ「秋の全国交通安全運動実施通知」配布(8/20) ④益子町通学路安全対策推進協議会 依頼文書配布(8/24) ②各小中学校へ「とちぎ防災ハンドブック2020」配布(8/26)	
	9月			②8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/1) ②次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査報告(9/1) ②「とちぎの道」道路の現場検証意見書提出(9/4) ④益子町通学路安全対策推進協議会 新規危険箇所申請受理(9/4) ②各小学校へ「交通安全教育DVD」配布(9/25) ②田野小学校へ「防犯ポスター・地域安全マップ入選者表彰式」開催通知配布(9/30)	
	10月			②9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/1) ②各小中学校へ「とちまる防犯講習(マップ作成コース)」開催通知配布(10/2)	
	11月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催予定 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。 また前年度の対策実施後の効果把握。 対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。		②10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/5) ②各小中学校へ「年末の交通安全県民総ぐるみ運動の実施要綱」配布(11/20) ④益子町通学路安全対策推進協議会開催(11/30)	
	12月			②11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/2) ②次年度新入学小学1年生へ防犯ブザー配布 ②七井小より次年度七井地区スクールガードリーダー推薦報告(12/25)	
	1月			②12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/8) ②各小学校へ「新入学児童を対象とした交通安全リーフレット」配布(1/15)	
	2月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ②小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ②スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ②次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ②令和2年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出		②1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(2/1) ②新入学1年生に防犯ブザー配布(2月中)	
	3月			②3月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(3/1) ②各小中学校へ「春の交通安全県民総ぐるみ運動の実施要綱」配布(3/4) ②新入学児童へ「反射材」「新入生誘拐防止チラシ」配布(3/4) ②スクールガード・リーダー謝金の支払い処理・次年度継続確認(3/8) ②広報ましこお知らせ版下半期にスクールガード募集案内掲載(3/14) ②広報配布時自治会回覧にてスクールガード募集案内チラシ配布(3/31)	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②令和2年度のスクールガード数は80名であった。(昨年度より2名増)</p> <p>令和 元年度 78名 平成30年度 81名 平成29年度 75名 平成28年度 78名 平成27年度 87名 平成26年度 84名 平成25年度 86名 平成24年度 84名 平成23年度 80名</p> <p>スクールガード平均年齢 令和 2年度 64歳(最高94歳。70歳以上は35名。45%) 令和 元年度 63歳(最高89歳。70歳以上は29名。37%) 平成30年度 65歳(最高84歳。70歳以上は22名。27%) これらの結果から、【スクールガードの新規加入者の確保及び高齢化】という課題が確認できる。</p>	<p>②【スクールガードの新規加入者の減少、高齢化】という課題を解決するため、新規登録者確保に取り組む。</p> <p>過去の傾向を見てみると、子や孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。よって益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
	<p>④令和2年度益子町通学路安全対策推進協議会の開催にあたり、益子町立各小学校中学校に新規危険箇所の申請依頼をした。合同点検にて現場視察及び対策方法を協議予定。</p>	<p>④益子町通学路安全対策推進協議会の開催前の危険箇所申請依頼は例年実施しているが、危険箇所申請は随時ある。町道の場合、建設課相談ですぐに対応出来る件もあるので、今後も申請があった場合はその都度確認する方針で対応したい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④11月30日、令和2年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。(平成26年度から開始し、今回で7回目となる) なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議参加者は学校関係者、真岡警察、真岡土木事務所、町担当者のみとし、スクールガードリーダー、益子町交通指導員、PTA連絡協議会代表者からは事前に意見書をいただいた。</p> <p>今年度新たに申請のあった6箇所の現場視察を実施。その後、事業主体を中心に新規6カ所の対策内容を協議した。また、昨年度までに視察・対策検討済みの45カ所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。</p>	<p>④益子町通学路安全対策推進協議会の通学路危険箇所視察時において、真岡土木事務所、真岡警察、各小中学校通学路担当教諭、スクールガードリーダー、益子町交通指導員、益子町建設課・総務課等、様々な立場の方々による意見交換は大変役に立ち、通学時の現状詳細を十分に把握することができた。</p> <p>次期四半期には各小学校の1日入学説明会があるので、スクールガードの勧誘チラシの作成、配布を実施し、新規スクールガード確保に努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②2月中旬の各小学校1日入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報、各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。 新規加入者確保のため、募集周知活動の必要性があった。</p> <p>④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図について、2月18日に公表。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	次半期は、更にスクールガードリーダーと連絡を密に取り合い情報を連携し、スクールガードの新規登録者募集の為の周知活動に力を入れ、年間計画に沿った事業運営を継続したい。
	第2四半期	②意見・提言 ・今後も子ども達の通学路の安全確保のため、各機関との連携を図り、スクールガードの人材確保と安全対策に努めていただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・4委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	/
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・スクールガード等の人員の確保に努力の跡が見える。今後も引き続き努力されたい。 ・スクールガードリーダーの皆様の活動には本当に頭が下がる。協力者の拡大を本気で考えなければならないと考える。 ・スクールガードの高齢化という課題はあるが、子供達の安全を守るため、各機関と連携を図り、さらに安心・安全体制を整えていただきたい。	